

**外交・安全保障調査研究事業費補助金  
補助事業実績報告書**

1. 基本情報	
事業者名 東京大学先端科学技術研究センター	
事業分野	※募集要領にある分野 A～C のいずれかを記入のこと。 A
事業名及び事業概要	※事業計画書の該当部分を転載のこと。  「体制間競争の時代における日本の選択肢：国際秩序創発に積極的関与を行うための政策提言・情報発信とそれを支える長期シナリオプランニング」  既存の国際秩序が大きく動揺し、異なる価値観・文明圏に基づく秩序観を掲げる勢力が競合する「体制間競争」の時代に入ったという認識の上で、日本が新たな秩序の創発を主体的、主導的に担っていくための国際的な中核基盤を、東京大学内にシンクタンクを形成して提供する。
事業実施期間	※下記の期間から1つを選択し「○」を記入  <input type="checkbox"/> 1年間（令和 年度） <input type="checkbox"/> 2年間（令和 年度～令和 年度）（うち 年目） <input checked="" type="checkbox"/> 3年間（令和 2 年度～令和 4 年度）（うち 2 年目）

## 2 事業の成果（アウトカム）

評価要綱3の項目につき、以下①、②の自己評価を記載すること（分量は自由）。

（※ 活動実績の詳細や定量的実績は下記「3-1」～「4-2」の欄に記載すること。）

- ① どのように取り組み、どのような成果があったか（工夫を凝らした点、前年度の事業から改善した点を含む）。
- ② どの部分につき進展・成果が不十分であったか。その原因、次年度での改善方法。

### （1）補助事業の成果

（基礎的情報収集・調査研究）

- 他の類似事業と比べて新規性があったか。研究成果により新たな知見が得られたか。

①について、以下の通り。

- 1) 衛星画像プロジェクトを立ち上げた。マクサー・テクノロジーズの高分解能衛星画像を用いてロシア、中国、北朝鮮等の秘匿度の高い対象を分析しようとするものであり、日本のシンクタンクとしては初の試みである。
- 2) 新領域セキュリティ分科会においては6回の研究会合を実施した。2年目においては他の分科会からも委員の参加を受け入れるとともに、外務省以外の公官庁にも案内を行い、議論の成果が幅広く共有・活用されるよう工夫した。その上で、2022年半ばを目処として新国家安全保障戦略にむけた提言を新領域セキュリティ分科会が中心となってまとめるという方針を採択し、政策志向の研究集団という性格をより明確に打ち出した。また、ここでの提言の中心は、委員の多様な専門性を活かした非伝統的安全保障に関するものとし、既に突っ込んだ議論が行われている古典的安全保障とは違った観点からの貢献を目指すこととした。特にインターネット空間上での情報操作の方法論、実態、古典的安全保障との関係性等、日本ではまだ十分に検討されていない点について、新領域セキュリティ研究会は大きな成果を挙げつつある。
- 3) インド太平洋交通安全保障に関する分科会を設置し、4回の研究会合を実施した。本分科会は、座長・幹事・幹事補佐を除いては全員外国籍（内訳：米国、シンガポール、台湾、ブルネイ、フィリピン）であり、英語で国際的な議論を行うプラットフォームである。また、外務省、防衛省、国土交通省等の公官庁にも案内を行い、意見交換及び議論の共有をできるよう工夫している。令和3年度は本分科会の1年目であるため、交通安全保障の基礎となるコンセプトや課題に関する研究報告を中心とした。2年目においては、近年における国際政治、

安全保障、新興技術、国際法の動向等が如何に交通の安全保障に影響を及ぼしているのかについて更に細分化された議論を行い、政策提言型の論文集を作成する予定である。これらの活動を通じて、国際的な議論を日本へ、日本の立場及び考えを海外へ発信し、本分科会は特殊な形で我が国の安全保障に貢献できる。

- 4) インド太平洋交通安全保障のサブ・グループとして、政策シミュレーション研究プロジェクトを立ち上げた。1年目となった令和3年度から2年目の前半までは、我が国を取り巻く安全保障環境と課題を深く理解するため、安全保障政策や政策シミュレーションの専門家とウェビナーを中心としている。令和3年2月には、アメリカ・エンタープライズ・インスティテュートのザック・クーパー博士と対談式のウェビナーを実施した。2年目の後半には、プロジェクトの構成員と国内外の専門家で独自の机上演習を実施し、大規模災害等の緊急事態シナリオを作成し、政策、戦略、行動を議論及び検証する予定である。
- 5) 米国・既存秩序の動揺に関する分科会は4回の研究会合を実施した。2年目の令和3年度においては、分科会の委員のみならず、委員以外の大学・研究機関所属の研究者も招へいすることで、より幅広い議論や研究成果の共有ができるよう試みた。また、1年目にとくに取り組んだ米国内の動揺（トランプ現象）の検討のみならず、欧州（ウクライナ危機）や豪州（AUKUS）の状況に関する研究会を重ねるなど研究対象の地域を拡大し、さらに、米国の対外政策を歴史的に検討する（米国と東南アジア）など、1年目に比べ、より地域的、歴史的なひろがりを持つ研究会として組織した。3年目である令和4年度においては、2024年におこなわれる米国大統領選挙が今後の国際政治を考えるうえで分水嶺のトピックとなるとの意識のもと、目下進行中の国際情勢を視野に入れながら、秋におこなわれる米国中間選挙を見据えた調査・研究をおこなっていく。
- 6) 米国・既存秩序の動揺に関する分科会のサブ・グループとして、令和3年度の後半に、日米同盟の基幹である、日米安全保障条約（日米安保）に関する重要な史資料を収集・整理・公開することを目的とした、日米安保資料プロジェクトを立ち上げた。本プロジェクトは、近年、日米安保にかかわる公文書の公開が米国のみならず、日本でも著しく進展している現状をふまえ、日米両国の史資料をつきあわせるようなかたちのオンライン・データベースの作成を目指している。こうしたデータベースの立ち上げは、日本のシンクタンクの試みとしては、画期的なものと評価できる。立ち上げの1年目では、日米安保が成立、改定された1950年代の日米首脳のやりとりを中心に、日米両国の史資料を収集・整理した。2年目の令和4年度では、1年目に収集・整理した史資料に、それ以外の時代の史資料もくわえてオンラインで公開することを目指すとともに、日米安保にとって重要な局面であった、沖縄返還

が 50 周年を迎えることを記念した研究セミナーをおこなう予定である。

- 7) 中国・権威主義体制に関する分科会は計 10 回（うちキックオフミーティング 2 回）の研究集会を実施した。最初の 3 回は、前年度に引き続き、共通論題を設定し、委員及びゲストによる報告が行われた。1 回目は「地域秩序」を共通テーマに、宇宙インフラを通じた中国の「一帯一路」構想、スマートシティを通じた ASEAN を舞台とする大国の覇権争い、③南シナ海問題をめぐる東南アジアの中小国のかじ取りによる地域秩序への影響について、2 回目は「中国と中央アジア関係」をテーマに、中央アジアの視点からみた「現状変更勢力」としての米欧と「現状維持勢力」としての中露、新疆をめぐる反テロ政策を事例とする中国—中央アジア関係、3 回目は「軍事動向」をテーマに、ロシア、パキスタン、中東（トルコ・イラン）の軍事動向についての知見を得た。その後、2 回のキックオフミーティングを通じ、調査研究の第二ラウンドでは、米中対立という観点では把握しきれずに見落とされてしまう論点を抉り出すために、本分科会が有する地域研究や人文研究の強みを活かしつつ、各メンバーの研究テーマを「歴史・思想」、「内政・外政」、「イシュー」のカテゴリーに分類し、それぞれのカテゴリーの順に報告が行われた。今年度は、「歴史・思想」のテーマで、中国と米国の歴史的な「内在論理」、歴史認識を巡るロシアの国際的取り組み、中国のユーラシア独裁者・権威主義体制の研究動向、米中対立における北朝鮮の対米政策、について、「内政・外政」では台湾の民主化をめぐる外圧と内在論理、習近平政権の内政と外交政策の相互作用、フィリピン大統領選にみる「権威主義ノスタルジー」、南シナ海問題を事例とするマレーシアの外交政策の決定要因について、中国—イラン関係の考察、GCA（Greater Central Asia）からみる中国の対アフガニスタン戦略、についての知見が得られた。次年度も共通テーマによる報告がなされた後、書籍としてとりまとめる予定である。

②特段ないが、今後もサブ研究プロジェクトを新規に立ち上げるため、補助金の執行状況を常時把握しながら、その効果的使用に努める。

（諸外国シンクタンク・有識者との連携の強化）

- 研究過程における外国シンクタンク・有識者等（在日の有識者、外交官、外国メディア関係者を含む）との定期的な討論や共同研究等を通じ、諸外国の視点を取り入れた調査研究や、日本の立場や見解に関する外国シンクタンク・有識者等による理解の増進に取り組んでいるか。

（※ 活動内容のみではなく、外国シンクタンク・有識者との連携がどれほど、どのように深められたかを総括的に記載すること。）

①について、以下の通り。

- 1) 海外在住または海外出身の研究者のみを委員とする「インド太平洋交通安全保障に関する分科会」を、8月に着任した山口亮特任助教を中心に12月に発足。会合では海上自衛隊幹部学校等からのオブザーバーとの活発な意見交換が行われた。
- 2) インド太平洋分科会の内部に設置した政策シミュレーション研究プロジェクトにより、米国の主要シンクタンクAEI等の研究者との公開・非公開での協議の場を設置した。
- 3) ギブール・ドラモット（仏国立東洋言語文化学院准教授）を客員准教授として招聘し、講演会の開催、分科会への参加により、フランスの東アジア国際関係研究の視点を取り入れた調査研究を進めた。
- 4) スウェーデンの安全保障開発政策研究所（ISDP）と学術交流覚書(MOU)を締結し、ISDP内に設置されたストックホルム南アジア・インド太平洋センター（SCSA-IPA）との間で交流を密にすることにより、北欧のインド太平洋理解を日本からの働きかけにより促進する手がかりを得た。
- 5) ロシア外務省附属のモスクワ国際関係大学（MGIMO）と国際交流協定を結び、非公開協議を通じて、ロシア政府の外交安全保障政策に関する姿勢を把握した。
- 6) UAEアブダビを拠点とするグローバル安全保障防衛研究所（IGSDA）との連携を強化し、中東情勢に関する分析を共同で行い、2回のウェビナーの共催により国際発信した。
- 7) イスラエルの主要大学・研究機関との関係構築を推進した。2022年2-3月には「イスラエル月間」を開催し、エルサレム・ヘブライ大、テルアビブ大、ライヒマン大（旧IDCヘルツェリヤ）等との共催ウェビナーを12回開催した。
- 8) テルアビブ大モシェダヤン中東アフリカ研究センターとは4年連続のラウンドテーブルをオンラインで開催した上で、2022年3月に池内教授が現地に渡航し、客員研究員としての任命を受け、研究室を確保し、イスラエルの大学・研究機関と日本との共同調査研究・発信のための現地拠点の構築をおこなった。
- 9) ライヒマン大学（旧IDC）とは2022年3月の日本イスラエル・湾岸産油国の政策協議の国際会議を開催した上で、日イスラエル湾岸イノベーション評議会をテルアビブ・東京・ドバイの三拠点で立ち上げ、研究者と実務家と企業関係者が恒常的に政策協議を行うことで合意した。

②特段ないが、次年度もより一層海外有識者・シンクタンクの連携強化に尽力していく。

（日本の主張の世界への積極的発信と国際世論形成への参画）

- インターネットによる広報やセミナー・シンポジウムの実施・参加及等を通じ、日本の主張の国際社会への発信が積極的になされたか。その結果として国際世論の形成に参画することができたか。

(※活動内容のみではなく、どのような発信が、どのように国際世論の形成への参画につながったかを総括的に記載すること。)

① について、以下の通り。

- 1) 衛星画像分析プロジェクトにおいて、千島列島の松輪島に地对艦ミサイル基地が設置されたことをロシア国防省発表よりも早く察知し、英文コメンタリーとして発信することができた。このコメンタリーは米軍関係者等にも広く読まれ、極東の安全保障分析に関する日本のプレゼンスを高める一助になったと考える。海外の登壇者を招いたウェビナーでは日本人コメンテーターとの意見交換に加え海外からの参加者との質疑応答も行われた。また、ROLES Insights (英語コメンタリー) を定期的に掲載する他、構成員による海外メディアへの寄稿も行われている。英語対談動画シリーズ ROLES Talk の視聴の 30-60%は海外からアクセスされている。
  - 2) また、衛星画像プロジェクトは、ロシア軍のウクライナ侵攻前後に大いに活用された。ロシア軍の移動・集結情報をほぼリアルタイムで観測することが可能であったため、ROLES の小泉専任講師がテレビ番組等で発言する際の実証的な裏付けとなった。不確実な状況下において、有識者が可能な限りの事実に基づいて世論形成を行うためのひとつのモデルケースになったと言える。このような方法は今後、朝鮮半島や台湾海峡をめぐる、我が国にとってより喫緊の局面においても応用可能であるという手応えを得た。
- ② 今後は ROLES Insights の本数を増やし、さまざまなバックグラウンドの執筆者から多彩な内容の寄稿を掲載する。日本語対談シリーズ ROLESCast に英語字幕を入れ、日本国内の視点を海外に伝える。

(国民の外交・安全保障問題に関する理解増進)

インターネットによる広報やセミナー・シンポジウムの実施・参加等を通じ、国民の外交・安全保障に関する理解増進に取り組んだか。また、その反響があったか。

(※活動内容のみではなく、どのような活動がどう国民の理解を増進したのか、どのような反響があったかを総括的に記載すること。)

① については以下の通り。

- 1) YouTube 上に ROLES CAST を開設し、北朝鮮やロシアをめぐる安全保障上の問題を適時に

取り上げて無料公開するという取り組みを開始した。特にロシアのウクライナ侵攻を取り上げた回は1ヶ月で8万6000回もの再生数があった。これらの取り組みは、専門家の知見を直接国民に届けるだけでなく、YouTube上における陰謀論的な言説に対抗するという意味で、情報面の安全保障に寄与するものであった。また、海外の有識者を登壇者としたウェビナーの大半で同時通訳を入れ、国民が海外の視点に触れる機会を増やした。

- 2) **ROLES** 外部での取り組みとしては、小泉悠専任講師がウクライナ情勢に関して連日のメディア出演・講演を行なっている。このうち、日本記者クラブで行われた講演はYouTube上でも公開され、1ヶ月で214万回再生された。
- ② 今後はYouTubeチャンネルの通訳の入ったウェビナー他英語対談シリーズ動画に日本語字幕を入れ、より多くの国民が海外からの幅広い知見に触れられるようにする。また、国際情勢を理解する上で有用な歴史・文化等の基礎知識を広めるため講義動画シリーズを開設する。

## (2) 補助事業の実施体制及び実施方法

- 若手、女性、地方在住研究者を積極的に登用しているか。若手研究者の育成（英語による発信力の強化を含む。）に取り組んでいるか。
- ① 本プロジェクトでは、オンライン形式での会合開催の強みを活かして、国内外、首都圏を問わず優れた研究者をメンバーとして引き入れており、若手研究者／首都圏居合の研究者の割合が全治の半分近く、女性研究者が全体の2割を占めている。本事業の推進母体である**ROLES**も全員が30-40代であり、女性の比率も高い。若手研究者の育成については、今年度から**ROLES**の一員となった山口亮座長が、本プロジェクトにおける対外発信を一手に引き受け、英語対談動画シリーズ「**ROLES Talk**」を立ち上げ、若手／女性／国外・地方在住研究者をゲストに迎えた対談動画を配信したり、英語による論考を発表しており、昨年度に比べて英語での発信頻度が格段に上昇している（詳細は3-1を参照）。
- ② 特段の改善点はないが、次年度も引き続き**ROLES**所属の研究員及び分科会委員を中心に、公開イベントでの登壇、論考のHP上での発表、対談動画の配信を積極的に推進していく。
- 複数の分科会や研究会がある場合、それらの間の有機的な連携が取れているか。
- ① 本プロジェクトでは、第一に、各分科会の座長間で適宜会合が開かれ、互いの進捗状況を確認している。また、池内座長は2つの分科会を束ね、小泉座長、山口座長は、別の分科会の委員でもあるため、進捗状況がリアルタイムで把握できる状況にある。また、各分科会座長と幹事によるミーティングが月1回の頻度で開催されている。第二に、分科会会合の開催情

報は、幹事をつうじてすべての分科会に常に共有され、また本プロジェクトの委員は、どの分科会会合にもオブザーバー参加できるようになっている。第三に、分科会間での委員の相互乗り入れ（別の分科会で報告を行うなど）も行っている。例えば中国・権威主義体制に関する分科会の山口委員は、新領域セキュリティの諸課題に関する分科会の研究会合で報告を行っている。

② 次年度も引き続きこの体制を維持し、プロジェクトの最終年度であることを踏まえ、より一層、分科会間の意思疎通の緊密化に尽力していく。

● 外務省等の関係部局とのコミュニケーションを構築し、政策立案上のニーズを把握し、それを踏まえて効果的にアウトプット・政策提言を行ったか。

① 各会合開催の際には、分科会幹事より外務省補助金担当者に連絡し、外務省内に会合を案内してもらっている。会合には、毎回外務省より少なからぬオブザーバーからの参加があり、ディスカッションにも加わっている。こうしたディスカッションを通じて得られた知見は、各委員による論考の作成や、研究方針を決める際に反映している。また、補助金担当部署である外務省総合外交政策局政策企画室とは密に連携を図っており、政策企画室長らとの懇談で得られた知見は、事業計画の遂行の際に参考としている。

② 最終年度である次年度には政策提言の作成が重要な活動の一つとなるが、その過程で外務省関係部局へのヒアリングや懇談も視野に入れ、政策立案上のニーズの把握に努めていく。

### (3) 補助金の使用

● 補助金は効率的に使用されているか。

① 今年度も新型コロナウイルスによる感染拡大にて渡航制限があったことから、旅費と招へい費の分は、新たな分科会、サブ分科会を発足させ、その新規プロジェクトの立ち上げ・調査費用や、会合開催にかかる謝金、論考執筆の原稿料、また、データベース使用料などに充てることで、プロジェクトの拡充を図った。また、海外有識者との公開ウェビナーには日英同時通訳を導入することで、海外有識者との連携強化のみならず、外交・安全保障への国民の理解増進を図った。また、今年度は研究プロジェクトを円滑に遂行し、対外発信を充実させるため、新たに特任助教を迎え入れた。その成果は、3-1に示す通りである。以上の通り、今年度も事業計画遂行のため、補助金は効率的に使用されている。

② 次年度も引き続き同様の形で補助金を執行していくが、分科会・サブ分科会の数や人材も増えたため、予算の執行状況の随時確認しながら、より一層効果的な補助金の使用に努めた

い。

- 補助金の適正な執行・管理のために十分な体制がとられたか（管理者による予算全体の配分・管理や支出の適正性を判断する担当者と実際の支出を承認する担当者の区分等）。
- ① 予算全体の配分・管理は、事業総括者と副総括者らが配分の方針を決め、それに基づき経理担当の事務補佐員が執行状況を管理している。支出の適正性については、事業総括者、副総括者らが支出の際に確認する。支出の依頼は事務補佐員が行うが、支出の承認は大学事務部門が行う。
  - ② 特段の改善点はないが、次年度は分科会・サブ分科会の数が増えたことから、予算全体の配分・管理面でのチェックの頻度を増やしていく。

### 3-1 事業の実施状況・成果

※以下の4つのカテゴリーに沿って、具体的な実施状況（日時、場所、参加者/参加人数、テーマ、調査、議論や対外発信の概要、成果等）について記載すること。（分量自由）

#### 1. 基礎的情報収集・調査研究

#### 2. 諸外国シンクタンク・有識者との連携の強化

（※実施状況のほか、外国シンクタンク・有識者との連携がどれほど、どのように深められたかを具体的に記載すること。）

#### 3. 日本の主張の世界への積極的発信と国際世論形成への参画

（※実施状況のほか、発信がどう国際世論の形成への参画につながったかを具体的に記載すること。）

#### 4. 国民の外交・安全保障問題に関する理解増進

（※実施状況のほか、活動がどのように国民の理解を増進したのか、どのような反響があったかを具体的に記載すること。）

### 3-1 事業の実施状況・成果

※以下の4つのカテゴリーに沿って、具体的な実施状況（日時、場所、参加者/参加人数、テーマ、調査、議論や対外発信の概要、成果等）について記載すること。（分量自由）

事業の実施状況は以下の通り。なお、議論の詳細については、「別添資料」（議事録、配布資料等を収録）を参照されたい。

#### 1. 基礎的情報収集・調査研究

##### (1) 中国・権威主義体制に関する分科会

###### ① 第1回会合

###### 【日時】

2021年5月22日（土）10:00～12:00

###### 【会議形式】

オンライン（Zoom）

###### 【参加者/参加人数】28名

###### 〔報告者〕

伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター  
鈴木 絢女 同志社大学法学部教授  
岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授

###### 〔出席者〕

###### 〔座長〕

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

###### 〔委員〕（五十音順）

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジア I 研究グループグループ長代理  
岡本 隆司 京都府立大学教授  
日下 渉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授  
小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教  
鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授  
田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員  
西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教  
乗松 亨平 東京大学総合文化研究科准教授  
宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授/東京大学先端科学技術研究センター客員研究員  
山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

###### 〔オブザーバー〕

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授  
ほか、外務省より13名出席。

【概要（テーマ／議論や対外発信の概要、成果）】

「地域秩序」を共通テーマに、伊藤和歌子委員より「宇宙インフラを通じた中国の地域秩序形成—『一带一路』宇宙情報回廊の建設を中心に」、鈴木絢女委員より「マレーシアと南シナ海問題：『合理的国家』を解体する」、岡本正明委員より「スマートシティが作る ASEAN 国際関係とインドネシアのビジョン」と題する報告がなされたのち、出席者間で討論が行われた。

② 第2回会合

【日時】

2021年6月21日（月）13:00～15:00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】40名

〔報告者〕

宇山 智彦 北海道大学教授  
田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

〔ディスカッサント〕

岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授

〔出席者〕

[座長]

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

[委員]（五十音順）

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジア I 研究グループグループ長代理  
家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授  
伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター  
岡本 隆司 京都府立大学教授  
日下 涉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授  
小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教  
鈴木 絢女 同志社大学法学部教授  
鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授  
中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授  
西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教  
乗松 亨平 東京大学総合文化研究科准教授  
松田 康博 東京大学東洋文化研究所教授  
山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

[オブザーバー]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授  
ほか、外務省より 22 名出席。

【概要（テーマ／議論や対外発信の概要、成果）】

「中央アジアをめぐる諸問題」を共通テーマに、ゲストスピーカーの宇山智彦教授より「中央アジアから見た『現状変更勢力』米欧と『現状維持勢力』中露」、田中周委員より「新疆をめぐる反テロ政策を事例とする中国-中央アジア関係」と題する報告がなされた。報告に対し、岡本正明委員よりコメントがなされたのち、出席者間で討論が行われた。

③ 第3回会合

【日時】

2021年7月21日（水）10：00～12：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】 34 名

〔報告者〕

栗田 真広 防衛研究所地域研究部研究員  
小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教  
溝渕 正季 広島大学准教授

〔出席者〕

[座長]

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

[委員]（五十音順）

家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授  
伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター  
日下 涉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授  
鈴木 絢女 同志社大学法学部教授  
鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授  
田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員  
西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教  
乗松 亨平 東京大学総合文化研究科准教授  
松田 康博 東京大学東洋文化研究所教授  
宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員  
山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

[オブザーバー]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

ほか、外務省より 18 名出席。

【概要（テーマ／議論や対外発信の概要、成果）】

「軍事動向」を共通テーマに、ゲストスピーカーの栗田真広研究員より「インド・パキスタン紛争の現状—軍事的側面を中心に」、小泉悠委員より「ロシアを巡る国際情勢と軍事力の『効用』」、ゲストスピーカーの溝淵正季准教授より「『アラブの春』以降の中東軍事情勢—トルコ・イランを中心に」と題する報告がなされたのち、出席者間で討論が行われた。

④ 第 4 回会合

【日時】

2021 年 8 月 26 日（木）16：00～18：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】 18 名

[座長]

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

[委員]（五十音順）

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジア I 研究グループグループ長代理

家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授

伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター

岡本 隆司 京都府立大学教授

岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授

日下 渉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

鈴木 絢女 同志社大学法学部教授

鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授

田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授

西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教

乗松 亨平 東京大学総合文化研究科准教授

松田 康博 東京大学東洋文化研究所教授

宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

[オブザーバー]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

【概要（テーマ／議論や対外発信の概要、成果）】

川島座長から第 1 タームの研究活動の総括と今後の研究の方向性についての説明がなされた上で、ロシア班班長、東南アジア班班長、幹事によるコメントが述べられたのちに、出席者間で討論が行われた。

⑤ 第 5 回会合

【日時】

2021 年 10 月 29 日（金） 9 : 30～10 : 30

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】 18 名

[座長]

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

[委員] (五十音順)

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジア I 研究グループグループ長代理  
家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授  
伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター  
岡本 隆司 京都府立大学教授  
岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授  
日下 渉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授  
小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教  
鈴木 絢女 同志社大学法学部教授  
鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授  
田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員  
中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授  
西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教  
乗松 亨平 東京大学総合文化研究科准教授  
松田 康博 東京大学東洋文化研究所教授  
宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員  
山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

[オブザーバー]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

【概要（テーマ／議論や対外発信の概要、成果）】

川島座長から第 2 タームの研究の方向性と計画に関する説明がなされた上で、小泉ロシア班班長ならびに鈴木絢女東南アジア班班長からコメントが述べられたのちに、各委員から寄せられたテーマ案に基づいて議論が行われた。

⑥ 第6回会合

【日時】

2021年11月23日（火）13:00～15:00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】24名

〔報告者〕

岡本 隆司 京都府立大学教授  
西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教

〔出席者〕

[座長]

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

[委員]（五十音順）

家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授  
伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター  
岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授  
日下 渉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授  
小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教  
鈴木 絢女 同志社大学法学部教授  
鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授  
田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員  
中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授  
乗松 亨平 東京大学総合文化研究科准教授  
宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員  
山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

[オブザーバー]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授  
ほか、外務省より8名出席。

【概要（テーマ／議論や対外発信の概要、成果）】

「歴史・思想」を共通テーマに、岡本隆司委員より「『米中対立』の源流？——『法治』と『文明』と憲法」、西山美久委員より「歴史認識を巡るロシアの国際的取り組み」と題する報告がなされたのち、出席者間で討論が行われた。

⑦ 第7回会合

【日時】

2021年12月28日(火) 13:00~15:00

【会議形式】

オンライン (Zoom)

【参加者／参加人数】 32名

〔報告者〕

家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授  
松田 康博 東京大学東洋文化研究所教授

〔出席者〕

[座長]

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

[委員] (五十音順)

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジア I 研究グループグループ長代理  
伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター  
岡本 隆司 京都府立大学教授  
岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授  
日下 渉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授  
小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教  
鈴木 絢女 同志社大学法学部教授  
鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授  
田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員  
中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授  
西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教  
乗松 亨平 東京大学総合文化研究科准教授  
宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員  
山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

[オブザーバー]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授  
ほか、外務省より 14名出席。

【概要 (テーマ／議論や对外発信の概要、成果)】

「内政・外政」を共通テーマに、家永真幸委員より「台湾の民主化をめぐる外圧と内在論理：高雄事件（1979年）における陶百川の位置づけを中心に」、松田康博委員より「試論：習近平政権の内政と外交政策の相互作用」と題する報告がなされたのち、出席者間で議論が行われた。

⑧ 第8回会合

【日時】

2022年1月28日(金) 10:00~12:00

【会議形式】

オンライン (Zoom)

【参加者／参加人数】 32名

〔報告者〕

山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官  
田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

〔出席者〕

[座長]

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

[委員] (五十音順)

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジア I 研究グループグループ長代理  
家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授  
伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター  
岡本 隆司 京都府立大学教授  
岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授  
日下 渉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授  
小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教  
鈴木 絢女 同志社大学法学部教授  
鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授  
中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授  
西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教  
乗松 亨平 東京大学総合文化研究科准教授  
松田 康博 東京大学東洋文化研究所教授  
宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

[オブザーバー]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授  
ほか、他分科会より3名、外務省より11名出席。

【概要 (テーマ／議論や対外発信の概要、成果)】

「ISSUE」を共通テーマに、山口信治委員より「中国-イラン関係の考察」、田中周委員より「GCA からみる中国の対アフガニスタン戦略」と題する報告がなされたのち、出席者間で討論が行われた。

⑨ 第9回会合

【日時】

2022年2月23日(水) 10:00~12:00

【会議形式】

オンライン (Zoom)

【参加者／参加人数】 28名

〔報告者〕

鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授  
宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

〔出席者〕

[座長]

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

[委員] (五十音順)

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジア I 研究グループグループ長代理  
家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授  
伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター  
岡本 隆司 京都府立大学教授  
岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授  
日下 渉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授  
小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教  
鈴木 絢女 同志社大学法学部教授  
田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員  
中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授  
西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教  
乗松 亨平 東京大学総合文化研究科准教授  
松田 康博 東京大学東洋文化研究所教授  
山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

[オブザーバー]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授  
ほか、他分科会より1名、外務省より9名出席。

【概要 (テーマ／議論や対外発信の概要、成果)】

「歴史・思想」を共通テーマに、鈴木隆委員より「中国におけるロシア政治、プーチン体制研究の概要と特徴-中国のユーラシア独裁者・権威主義体制の研究動向-」、宮本悟委員より「米中対立における北朝鮮の対米政策と反帝国主義諸国との連携」と題する報告がなされたのち、出席者間で討論が行われた。

⑩ 第10回会合

【日時】

2022年3月15日（火）15：00～17：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】21名

〔報告者〕

日下 渉 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授  
鈴木 絢女 同志社大学法学部教授

〔出席者〕

[座長]

川島 真 東京大学大学院総合文化研究科教授

[委員]（五十音順）

青木 まき アジア経済研究所地域研究センター東南アジア I 研究グループグループ長代理  
家永 真幸 東京女子大学現代教養学部准教授  
伊藤和歌子 東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター  
岡本 隆司 京都府立大学文学部教授  
岡本 正明 京都大学東南アジア地域研究研究所教授  
小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教  
鈴木 隆 愛知県立大学外国語学部准教授  
田中 周 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員  
中西 嘉宏 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授  
西山 美久 北海道大学国際連携機構特任助教  
乗松 亨平 東京大学総合文化研究科准教授  
宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員  
山口 信治 防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官

[オブザーバー]

ほか、他分科会より2名、外務省より3名出席。

【概要（テーマ／議論や对外発信の概要、成果）】

「内政・外政」を共通テーマに、日下渉委員より「なぜ今「権威主義ノスタルジー」なのか？：2022年フィリピン大統領選挙を読み解く」、鈴木絢女委員より「外交政策の決定要因：続・マレーシアの「合理的国家」を解体する」と題する報告がなされたのち、出席者間で議論が行われた。

(2) 中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会

① 第1回会合

【日時】

2021年7月7日(水) 13:00~15:00

【会議形式】

オンライン (Zoom)

【参加者/参加人数】 16名

[座長]

池内恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

[幹事・副幹事]

立田由紀恵 (幹事) 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[委員] (五十音順)

今井 宏平 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員  
岩瀬 昇 エネルギー・アナリスト 三井物産社友  
柿崎 正樹 テンプル大学ジャパンキャンパス 政治学部 上級准教授  
小林 周 在リビア日本大使館書記官  
斎藤 純 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員  
篠田 英朗 東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授  
鈴木 均 日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任研究員  
東野 篤子 筑波大学人文社会系准教授  
平野 克己 日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任調査研究員  
廣瀬 陽子 慶應義塾大学総合政策学部教授  
松本 佐保 名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授  
本名 純 立命館大学教授  
山尾 大 九州大学比較社会文化研究院准教授  
吉岡 明子 日本エネルギー経済研究所・中東研究センター研究員

【概要(テーマ/議論や対外発信の概要、成果)】

冒頭、池内座長から本事業の全体概要、昨年度の実績及び今年度の方針について説明。その後、山尾委員より「岐路に立つイラクー人民動員隊の拡大と経済危機、蔓延する不満」と題する報告がなされ、出席者間で討論が行われた。

(3) 米国・既存秩序の動揺に関する分科会

① 第1回会合

【日時】

2021年4月30日(金) 16:00~18:00

【会議形式】

オンライン (Zoom)

【参加者／参加人数】 10名

[座長（代理）]

村田 晃嗣 同志社大学法学部教授

[幹事・副幹事]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[委員]（五十音順）

小島 吉之 帝塚山大学非常勤講師

小谷 哲男 明海大学外国語学部教授

杉田 弘毅 共同通信社特別編集委員

高橋 慶吉 大阪大学法学研究科教授

鶴岡 路人 慶應義塾大学総合政策学部准教授

中山 俊宏 慶應義塾大学総合政策学部教授

待鳥 聡史 京都大学大学院法学研究科教授

【概要（議論や対外発信の概要、成果）】

会の冒頭、池内幹事より令和3年度の分科会の運営について話があった。続いて、「トランプ政権と米国の情報コミュニティー — 「アメリカ・ファースト」がもたらした混乱とその帰結 —」の議題のもと、小島吉之委員より報告があり、それを受けて出席者間で活発な討論がおこなわれた。

② 第2回会合

【日時】

2021年7月9日（金）14：00～16：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】 10名

[座長（代理）]

村田 晃嗣 同志社大学法学部教授

[報告者]

合六 強 二松学舎大学国際政治経済学部専任講師

[幹事・副幹事]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授

鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[委員] (五十音順)

小島 吉之 帝塚山大学非常勤講師  
小谷 哲男 明海大学外国語学部教授  
鶴岡 路人 慶應義塾大学総合政策学部准教授  
待鳥 聡史 京都大学大学院法学研究科教授

[オブザーバー]

池田有紀美 国際連合軍縮部政務官補 (新領域分科会委員)  
東野篤子 筑波大学人文社会系准教授 (中東・イスラーム分科会委員)

【概要 (議論や対外発信の概要、成果)】

「長期化するウクライナ危機と米欧の対応」の議題のもと、合六強二松学舎大学専任講師より報告があり、それを受けて出席者より活発な討論がおこなわれた。

③ 第3回会合

【日時】

2021年12月17日 (金) 10:00~12:00

【会議形式】

オンライン (Zoom)

【参加者/参加人数】 12名

[座長 (代理)]

村田 晃嗣 同志社大学法学部教授

[報告者]

佐竹 知彦 防衛研究所政策研究部防衛政策研究室主任研究官

[幹事・副幹事]

池内 恵 東京大学先端科学技術研究センター教授  
鍛冶 一郎 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[委員] (五十音順)

小島 吉之 帝塚山大学非常勤講師  
小谷 哲男 明海大学外国語学部教授  
杉田 弘毅 共同通信社特別編集委員  
高橋 慶吉 大阪大学大学院法学研究科教授  
鶴岡 路人 慶應義塾大学総合政策学部准教授  
待鳥 聡史 京都大学大学院法学研究科教授

[オブザーバー]

松本 佐保 日本大学国際学部教授 (中東・イスラーム分科会委員)

村野 将            ハドソン研究所研究員（新領域分科会委員）

【概要（議論や対外発信の概要、成果）】

「豪州の対中認識と AUKUS」の議題のもと、佐竹知彦・防衛研究所政策研究部防衛政策研究室主任研究官より報告があり、それを受けて出席者より活発な討論がおこなわれた。

④ 第4回会合

【日時】

2022年2月11日（金）16:00～18:00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】 14名

[座長]

坂元 一哉            大阪大学名誉教授

[座長（代理）]

（欠席）村田 晃嗣      同志社大学法学部教授

[報告者]

鳥潟 優子            同志社女子大学現代社会学部社会システム学科准教授

[幹事・副幹事]

池内 恵            東京大学先端科学技術研究センター教授

鍛冶 一郎          東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

[委員]（五十音順）

小島 吉之          帝塚山大学非常勤講師

小谷 哲男          明海大学外国語学部教授

杉田 弘毅          共同通信社特別編集委員

高橋 慶吉          大阪大学大学院法学研究科教授

鶴岡 路人          慶應義塾大学総合政策学部准教授

中山 俊宏          慶應義塾大学総合政策学部教授

待鳥 聡史          京都大学大学院法学研究科教授

[オブザーバー]

岩瀬 昇            エネルギー・アナリスト（中東・イスラーム分科会委員）

松本 佐保          日本大学国際学部教授（中東・イスラーム分科会委員）

松田 康博          東京大学東洋文化研究所教授（中国・権威主義体制に関する分科会委員）

【概要（議論や対外発信の概要、成果）】

「アメリカの東南アジア政策とインドネシア独立戦争」の議題のもと、鳥潟優子・同志社女子大学准教授より報告があり、それを受けて出席者より活発な討論がおこなわれた。

(4) 新領域セキュリティの諸課題に関する分科会

① 第1回会合

【日時】

2021年5月27日(木) 10:00~12:00

【会議形式】

オンライン (Zoom)

【参加者/参加人数】 13名

[座長]

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員] (五十音順、敬称略)

飯塚 恵子 読売新聞編集委員

池田 有紀美 未来工学研究所研究員

栗原 響子 日本国際問題研究所研究員

小宮山 功一郎 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター国際部部长

佐橋 亮 東京大学東洋文化研究所准教授

鈴木 一人 北海道大学公共政策大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

高森 雅和 株式会社電通シニアソリューションディレクター

中井 治郎 龍谷大学社会学部非常勤講師

中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授

松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

村野 将 ハドソン研究所研究員

山口 亮 釜山国立大学客員教授

【概要(議論や対外発信の概要、成果)】

冒頭、令和3年度の分科会方針及び成果物について小泉座長から説明があった。その後、小泉座長から新たに設立した衛星画像分析プロジェクト、情報安全保障プロジェクトについて説明がなされ、今後実施可能な分析等について意見交換を行った。最後に、小泉座長から「ロシアにおけるAIの軍事利用の動向」と題する報告がなされ、出席者間で討論が行われた。

② 第2回会合

【日時】

2021年6月25日(金) 10:00~12:00

【会議形式】

オンライン (Zoom)

【参加者／参加人数】 32名

[座長]

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員] (五十音順、敬称略)

飯塚 恵子 読売新聞編集委員

池田 有紀美 未来工学研究所研究員

栗原 響子 日本国際問題研究所研究員

小宮山 功一朗 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター国際部部長

佐橋 亮 東京大学東洋文化研究所准教授

鈴木 一人 北海道大学公共政策大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

中井 治郎 龍谷大学社会学部非常勤講師

中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授

松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

村野 将 ハドソン研究所研究員

山口 亮 釜山国立大学客員教授

[オブザーバー]

青木 このみ 外務省経済局政策課事務官

赤松 秀一 外務省大臣官房審議官 (経済局兼中南米局)

上野 裕大 外務省経済連携課企画官

遠藤 和也 外務省アジア大洋州局審議官

亀山 伸正 外務省国際情報統括官室第二国際情報官室事務官

倉田 馨 外務省国際貿易課調査員

竹中 恵一 外務省中国・モンゴル第一課上席専門官

徳増 振一郎 外務省情報統括官組織第二国際情報官室課長補佐

中川 真太郎 外務省北米局北米第二課首席事務官

西 淳也 公益財団法人交流協会台北事務所総務室長

野口 泰 防衛省防衛政策局次長

萩野 明之 外務省 IT 広報室長

早川 修 外務省大臣官房付国立公文書館アジア歴史資料センター次長

福多 彩加 外務省欧州局政策課主査

藤村 和広 外務省大臣官房大使

松原 一樹 外務省総合外交政策局政策企画室室長

薮井 大平 外務省中東アフリカ局中東第1課課長補佐

山中 修 経済産業省審議官

吉田 知史 外務省在中国日本国大使館専門調査員

和田 光宏 外務省軍縮不拡散・科学部 不拡散・科学原子力課課長補佐

【概要 (議論や対外発信の概要、成果)】

「台湾を巡る安全保障」の共通テーマのもと、松本委員より「中国の台湾に対する影響力の行

使と情報操作」、佐橋委員より「米中関係から見た台湾問題」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

③ 第3回会合

【日時】

2021年8月24日（火）10：00～12：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】 27名

[座長]

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員]（五十音順、敬称略）

飯塚 恵子 読売新聞編集委員

池田 有紀美 未来工学研究所研究員

栞原 響子 日本国際問題研究所研究員

佐橋 亮 東京大学東洋文化研究所准教授

鈴木 一人 北海道大学公共政策大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

中井 治郎 龍谷大学社会学部非常勤講師

中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授

松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

山口 亮 釜山国立大学客員教授

[オブザーバー]

江本 正行 外務省経済局国際貿易課サービス貿易室事務官

和田 光宏 外務省課長補佐

石田 春菜 外務省課長補佐

吉田 常孝 外務省診療所技官

安藤 慧 外務省首席事務官

藤村 和広 外務省大使

今泉 徹 外務省経サ貿 EPA 専門員

遠藤 茂 外務省参与

遠藤 和也 外務省審議官

太田 代身生 外務省北米第二課課長補佐

小野 益央 参議院国際部国際交流課課長

萩野 明之 外務省在広州日本国総領事館領事

野口 泰 防衛省防衛政策局次長

上野 裕大 外務省投資政策室長

大塚 航 外務省官房付

別府 文弥 外務省サービス貿易室課長補佐

亀山 伸正 外務省第二国際情報官室事務官

【概要（議論や対外発信の概要、成果）】

「新興テクノロジーと安全保障」の共通テーマのもと、鈴木委員より「宇宙安全保障をめぐる問題」、未来工学研究所の多田研究員より「グローバルリスクとしての新興技術 軍事分野における合成生物学研究」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

④ 第4回会合

【日時】

2021年11月12日（金）10：00～12：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】 29名

[座長]

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員]（五十音順、敬称略）

飯塚 恵子 読売新聞編集委員

池田（久保） 有紀美 未来工学研究所研究員

栗原 響子 日本国際問題研究所研究員

小宮山 功一朗 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター国際部部长

佐橋 亮 東京大学東洋文化研究所准教授

鈴木 一人 北海道大学公共政策大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

中井 治郎 龍谷大学社会学部非常勤講師

中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授

松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

山口 亮 釜山国立大学客員教授

[オブザーバー]

岩瀬 昇 エネルギー・アナリスト 三井物産社友（中東分科会）

松本 佐保 日本大学国際学部教授（中東分科会）

新宮 清香 一橋大学法学部博士課程

石川 亘 外務省欧州局室長

渡邊 慎二 外務省大臣官房人物交流室室長

佐藤 剛史 外務省主査

藤村 和広 外務省大使

鬼頭 恵美 外務省主査

Yudai Ueno 外務省投資政策室長

早川 修 国立公文書館アジア歴史資料センター次長

亀山 伸正 外務省国際情報統括官室第二国際情報官室事務官

福多 彩加 外務省主査  
Fumihito Shinohara Ministry of Foreign Affairs, Assistant Director  
貴志 功 外務省上席専門官  
小野 益央 参議院国際部国際交流課課長  
大隅 洋 外務省総合外交政策局審議官  
内田 浩行 内閣サイバーセキュリティセンター参事官  
廣瀬 貴之 在米国大使館防衛駐在官

【概要（議論や対外発信の概要、成果）】

冒頭、小泉座長から本分科会の1年半の事業総括及び最終成果物としての国家安全保障戦略に関する提言について説明。その後、高見澤軍縮会議大使から「国家安全保障戦略をめぐる論点」、小泉座長から「新国家安全保障戦略に求められるもの：ロシア軍事研究からの示唆」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

⑤ 第5回会合

【日時】

2022年1月21日（金）10：00～12：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】 32名

[座長]

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師

[委員]（五十音順、敬称略）

飯塚 恵子 読売新聞編集委員

池田（久保） 有紀美 未来工学研究所研究員

栞原 響子 日本国際問題研究所研究員

小宮山 功一朗 一般社団法人JPCERT コーディネーションセンター国際部部长

佐橋 亮 東京大学東洋文化研究所准教授

鈴木 一人 北海道大学公共政策大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

中井 治郎 龍谷大学社会学部非常勤講師

中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授

松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授

山口 亮 釜山国立大学客員教授

[オブザーバー]

岩瀬 昇 エネルギー・アナリスト 三井物産社友（中東分科会）

三宅 保次郎 防衛省国際政策課国際政策企画官

竹内 一博 防衛省防衛政策局戦略企画課防衛部員

亀田 健一 防衛装備庁次世代装備研究所情報通信研究部サイバーセキュリティ研究室主任研

究官  
 松浦 紀光 防衛省防衛政策局調査課戦略情報分析室長  
 坂本 貞史 地方協力局東日本協力課北海道東北班長（部員）  
 川上 博英 フリー  
 三島 茂徳 防衛装備庁防衛技監  
 丸山 洋平 防衛装備庁事務官  
 廣木 麻実 経済産業省課長補佐  
 松澤 英明 経済産業省室長補佐  
 鈴木 一司 経済産業省安全保障貿易管理政策課国際分析官  
 平 進太郎 防衛装備庁次世代装備研究所研究室員  
 田中 大介 経済産業省安全保障貿易管理政策課課長補佐  
 武田 洋平 防衛省（陸上自衛隊）陸上幕僚監部情報課付（韓国防衛駐在官要員）  
 廣田 文音 防衛省整備計画局情報通信課班長  
 内藤 重臣 防衛省陸上自衛隊長期見積係  
 高橋 誠 防衛省陸上幕僚監部防衛部防衛課研究室長期見積係  
 戸木田 佳久 陸上自衛隊陸上幕僚監部研究室担当  
 松浦 紀光 防衛省防衛政策局長調査課戦略情報分析室長

【概要（議論や対外発信の概要、成果）】

冒頭、小泉座長から本分科会の位置づけ及び最終成果物としての国家安全保障戦略に関する提言について改めて説明。その後、山口信治委員（中国分科会）より「中国の情報をめぐる闘争：反和平演変・反カラー革命と情報化戦争」、山口亮委員より「朝鮮半島情勢と日本」と題する報告がなされ、冒頭説明及び報告を受けて出席者間で討論が行われた。

⑥ 第6回会合

【日時】

2022年2月24日（木）10：00～12：00

【会議形式】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】 25名

[座長]

小泉 悠 東京大学先端科学技術研究センター専任講師

[委員]（五十音順、敬称略）

飯塚 恵子 読売新聞編集委員

池田 有紀美 未来工学研究所研究員

栗原 響子 日本国際問題研究所研究員

小宮山 功一朗 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター国際部部长

佐橋 亮 東京大学東洋文化研究所准教授

鈴木 一人 北海道大学公共政策大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

高森 雅和 株式会社電通シニアソリューションディレクター  
中井 治郎 龍谷大学社会学部非常勤講師  
中井 遼 北九州市立大学政策科学科准教授  
松本 充豊 京都女子大学現代社会学部教授  
村野 将 ハドソン研究所研究員  
山口 亮 釜山国立大学客員教授

[オブザーバー]

遠藤 理瑛 防衛省サイバー攻撃対処企画班長  
小谷 哲男 明海大学教授  
三宅 保次郎 防衛省防衛政策局国際政策課国際政策企画官  
松田 康博 東京大学教授  
早川 健太郎 防衛省研究員  
春日原 大樹 防衛装備庁長官官房審議官  
島田 真人 JAXA 参事  
佐藤 啓太 防衛省防衛政策局戦略企画課防衛事務官  
高村 昇平 安全保障貿易管理政策課総括係員  
小堀 優井 防衛省防衛政策局国際政策課係長

[幹事]

狩野 希望 東京大学先端科学技術研究センター協力研究員

【概要（議論や対外発信の概要、成果）】

防衛省防衛政策局防衛政策課の飯島課長より「これからの我が国防衛力の考え方」、経済産業省大臣官房経済安全保障室の香山室長より「国家安全保障と経済安全保障」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

(5) インド太平洋交通安全保障に関する分科会

① 第1回会合

【日時】

2021年12月15日（水）14：00～16：00

【場所】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】 13名

【座長】

山口 亮 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

【委員】（五十音順、敬称略）

Asyura Salleh Global Awareness & Impact Alliance 共同創設者  
Christopher Lamont 東京国際大学准教授

Collin Koh Swee Lean ラジャラトナム国際学研究所リサーチ・フェロー  
Jeffrey Ordaniel 東京国際大学専任講師  
Shang-Su Wu ラブダン・アカデミー助教授

[オブザーバー]

坂元 一哉 大阪大学名誉教授（米国分科会）  
松本 佐保 日本大学国際関係学部教授（中東分科会）  
押手 順一 防衛省防衛政策課主任  
高橋 敬太郎 外務省課長補佐  
松浦 紀光 防衛省防衛政策局長調査課戦略情報分析室長  
Seiichi Suzuki 外務省経済局国際経済課経済協力開発機構室長補佐

[幹事]

立田 由紀恵 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【概要（議論や対外発信の概要、成果）】

冒頭、山口座長より本分科会の設立趣旨及びスケジュール等について説明がなされた後、交通安全保障に関する概念整理に係る報告がなされ、それを受けて出席者間で今後取り扱うテーマについて討論が行われた。

② 第2回会合

【日時】

2022年2月16日（水）14:00～16:00

【場所】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】 12名

[座長]

山口 亮 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員]（五十音順、敬称略）

Asyura Salleh Global Awareness & Impact Alliance 共同創設者  
Christopher Lamont 東京国際大学准教授  
Collin Koh Swee Lean ラジャラトナム国際学研究所リサーチ・フェロー  
Jeffrey Ordaniel 東京国際大学専任講師  
Shang-Su Wu ラブダン・アカデミー助教授

[オブザーバー]

岩瀬 昇 エネルギー・アナリスト 三井物産社友（中東分科会）  
斎藤 純 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員（中東分科会）  
宮本 悟 聖学院大学政治経済学部教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員

Seiichi Suzuki 外務省経済局国際経済課経済協力開発機構室長補佐  
Toyofumi Yoshida 防衛省

[幹事]

立田 由紀恵 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【概要（議論や対外発信の概要、成果）】

Wu 委員より「Railway Security」、Lamont 委員より「Aviation Security: An Introduction to Regulation, and Emerging Risks」、山口座長より「Intermodal Transportation: Security」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

③ 第3回会合

【日時】

2022年3月16日（水）14：00～16：00

【場所】

オンライン（Zoom）

【参加者／参加人数】 8名

[座長]

山口 亮 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員]（五十音順、敬称略）

Asyura Salleh Global Awareness & Impact Alliance共同創設者

Christopher Lamont 東京国際大学准教授

Collin Koh Swee Lean ラジャラトナム国際学研究所リサーチ・フェロー

Jeffrey Ordaniel 東京国際大学専任講師

[オブザーバー]

海上自衛隊幹部学校より2名

[幹事]

立田 由紀恵 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【概要（議論や対外発信の概要、成果）】

Salleh委員より「Minimising Friction at Sea」、Ordaniel委員より「Challenges to Navigational Rights and Freedoms in the Indo-Pacific」、Koh委員より「The Current Post-Pandemic Situation for Maritime Security in Southeast Asia」と題する報告がなされ、それを受けて出席者間で討論が行われた。

\* 予備会合

【日時】

2022年1月21日（金）14：00～16：00

【場所】

オンライン (Zoom)

【参加者／参加人数】 7名

[座長]

山口 亮 東京大学先端科学技術研究センター特任助教

[委員]

Collin Koh Swee Lean ラジャラトナム国際学研究所リサーチ・フェロー

[オブザーバー]

海上自衛隊幹部学校より 3名

防衛省防衛政策局防衛政策課より 1名

[幹事]

立田 由紀恵 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

【概要 (議論や対外発信の概要、成果)】

Koh委員より中国海軍とインド太平洋海上安全保障情勢についての発表があり、それを受けてオブザーバーも含めたディスカッションを行った。

## 2. 諸外国シンクタンク・有識者との連携の強化

今年度は、以下のとおり諸外国シンクタンク・有識者との会合を開催した。

第一に、分科会共通事業として、「想研究のための国際研究ネットワーク構築」シリーズのセミナーを開催し、エルサレム＝ヘブライ大学、プリンストン大学、ハイデルベルク大学から講師を招き、セミナーを開催した。その概要は以下の通り。

年月日	会合名／分科会名	登壇者 (所属)	事前登録人数	Zoom 参加人数
2021 / 06 / 13 (日)	セミナー 犠牲の文法学 未来の人文学に向けて：思想研究のための国際研究ネットワーク構築	ナフタリ・シュムエル・メシエル (エルサレム＝ヘブライ大学・上級講師)	44	32
2021 / 06 / 20 (日)	セミナー 穢れをめぐる二つのモデル 未来の人文学に向けて：思想研究のための国際研究ネットワーク構築	ナフタリ・シュムエル・メシエル (エルサレム＝ヘブライ大学・上級講師)	44	31
		ヒレル・マリ博士 (プリンストン大学)		
2021 / 06 / 27 (日)	セミナー 古き儀礼学と新しき儀礼学	ナフタリ・シュムエル・メシエル (エルサレム＝ヘブライ大学・上級講師)	44	28

	未来の人文学に向けて：思想研究のための国際研究ネットワーク構築	アナンド・ミシュラ博士（ハイデルベルク大学） 池内 恵（東京大学先端科学技術研究センター・教授）		
2022 / 02 / 27 (日)	セミナー イスラエル月間   #5 連続講義「ヘブライ語聖書研究・序論：4つのパースペクティブ」 未来の人文学に向けて：思想研究のための国際研究ネットワーク構築	ナフタリ・シュムエル・メシエル（エルサレム＝ヘブライ大学・上級講師）	43	27
2022 / 02 / 28 (月)	セミナー イスラエル月間   #6 連続講義「ヘブライ語聖書研究・序論：4つのパースペクティブ」 未来の人文学に向けて：思想研究のための国際研究ネットワーク構築	ナフタリ・シュムエル・メシエル（エルサレム＝ヘブライ大学・上級講師）	43	25
2022 / 03 / 04 (金)	講演 イスラエル月間   #7 特別講演「間宗教的学び：科学のみならず、アートとして」 未来の人文学に向けて：思想研究のための国際研究ネットワーク構築	フランシス・クルーニー（ハーヴァード大学・教授）	42	28
2022 / 03 / 15 (火)	セミナー イスラエル月間   #10：連続講読セミナー「『ゾハルの書』における神秘と解釈」 未来の人文学に向けて：思想研究のための国際研究ネットワーク構築	アヴィシヤイ・バル＝アシェル（エルサレム＝ヘブライ大学講師）	23	13
2022 / 03 / 16 (水)	セミナー イスラエル月間   #11：連続講読セミナー「『ゾハルの書』における神秘と解釈」 未来の人文学に向けて：思想研究のための国際研究ネットワーク構築	アヴィシヤイ・バル＝アシェル（エルサレム＝ヘブライ大学・上級講師）	23	14

第二に、8月に着任した山口特任助教を中心に、海外在住または海外出身の研究者のみを委員とする「インド太平洋交通安全保障に関する分科会」を12月に発足し（詳細は3-1の「1.」または「3.」を合わせて参照）、そのサブ分科会とした政策シミュレーション延久プロジェクトで

は、そのメンバーを中心に「日米同盟の未来：展望と課題 - Shaping the Future of the Japan-US Alliance」を開催した。そのほか、今年度、山口特任助教を中心に創設した「ROLES Talk」（詳細は 3-1 の「3.」を参照）にも、同研究会メンバーもゲストに招き、インド太平洋における海軍の展開や台湾の安全保障などについて議論を交わした。その概要は以下の通り。

年月日	会合名／分科会名	登壇者（所属）	事前登録人数	Zoom 参加人数
2022 / 02 / 23 (水)	セミナー 「日米同盟の未来：展望と課題 - Shaping the Future of the Japan-US Alliance」 ／政策シミュレーション研究プロジェクト	ザック・クーパー（アメリカン・エンタープライズ・インスティテュート、シニア・フェロー）	180	218
		山口 亮（東京大学先端科学技術研究センター特任助教、ROLES 研究主幹）		

第三に、中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会を中心に、辻田特任助教を中心に「フェイクニュース」と「水」をテーマとするセミナーをイスラエルのカウンターパート（イスラエル国家安全保障研究所(INSS)、イスラエル・ネゲヴ・ベングリオン大学）とともに開催し、日本とイスラエルの協力可能性について議論した。また、アブダビを拠点とするシンクタンクのIGSDA(Institute for Global Security and Defense Affairs)と共催で Joint Webinar を2回、大型公開シンポジウムを1回開催した。概要は以下のとおり。

年月日	会合名／分科会名	登壇者（所属）	事前登録人数	Zoom 参加人数
2021 / 08 / 30 (月)	セミナー フェイクニュースと偽情報への対処方法:イスラエルと日本からの最新の教訓 ／中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会	インバル・オルパス氏(イスラエル国家安全保障研究所(INSS)のリップキン・シャハク・プログラム研究員)	295	184
		笹原 和俊(東京工業大学環境社会学部・准教授)		
		小泉 悠(東京大学先端科学技術研究センター・特任助教)		
		池内 恵(東京大学先端科学技術研究センター・教授)		
2021 / 10 / 18 (月)	セミナー 環境変化に適応した水資源管理と水の安全保障の実現に向けて:イスラエル・日本の事例紹介とその政策的含意 ／中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会	エイロン・アダル(イスラエル・ネゲヴ・ベングリオン大学ヤコブ・ブラウシュタイン砂漠研究所・ザッカーバーグ水研究所・名誉教授)	115	70
		永田 謙二(国際協力機構(JICA)地球環境部水資源グループ・国際協力専門員)		
		池内 恵(東京大学先端科学技術研究センター・教授)		
2022 / 02 / 14 (月)	セミナー ROLES-IGSDA Joint	MG (Rtd) Dr. Sayed Ghoneim (Senior Strategist and	85	115

	Webinar #1: Beware the Non-State Actors: Houthi Threats on the Gulf Countries”	Chairman, Institute of Global Security and Defense Affairs (IGSDA) Ryo Hinata-Yamaguchi ( Project Assistant Professor, RCAST, the University of Tokyo and Executive Director of the ROLES (RCAST Open Laboratory for Emergence Strategies) Satoshi Ikeuchi, Professor of Religion and Global Security, RCAST, the University of Tokyo and Chair of the ROLES (RCAST Open Laboratory for Emergence Strategies)		
2022 / 02 / 14 (月)	セミナー ROLES-IGSDA Joint Webinar #2: The Eastern Question Redux? Turkey's Position Between NATO and Russia ROLES-IGSDA Joint Webinars	MG (Rtd) Dr. Sayed Ghoneim ( Senior Strategist and Chairman, Institute of Global Security and Defense Affairs (IGSDA)) Dr. Masaki Mizobuchi ( Associate Professor, Graduate School of Humanities and Social Sciences, Hiroshima University) Dr. Kohei Imai ( Research Fellow, Institute of Developing Economies ) Satoshi Ikeuchi ( Professor of Religion and Global Security, RCAST, the University of Tokyo and Chair of the ROLES (RCAST Open Laboratory for Emergence Strategies)	85	115
2022 / 03 / 16 (水)	国際会議「未来のイスラエル・日本・湾岸協力」	H.E. Amb. Mizushima Koichi, Ambassador of Japan to Israel H.E. Amb. Gilad Cohen, Ambassador of Israel to Japan H.E. Amb. Ron Prozor, Chairman, Abba Eban Institute for International Diplomacy, Reichman University Prof Nobukatsu Kanehara, Former Assistant Chief Cabinet Secretary to Prime Minister Shinzo Abe Dr Tomohiko Taniguchi, Former Special Adviser to Prime Minister Shinzo Abe Prof Satoshi Ikeuchi, The	不明	対面約 100 オンライン 約 700

	Research Center for Advanced Science & Technology (RCAST), University of Tokyo		
	Adv. Guy Lachmann, Senior Partner, Pearl Cohen Law Firm		
	Dr Narayanappa Janardhan, Senior Research Fellow, Anwar Gargash Diplomatic Academy, Abu Dhabi		
	Goor Tsalalyachin, Executive Director, Abba Eban Institute for International Diplomacy, Reichman University		
	Adv. Ze'ev Weiss, Chairman, Japan-Israel Chamber of Commerce		
	Elchanan Harel, President, Harel-Hertz Investments House		
	Tsvi Lev, General Manager, NEC Israel Research Center		
	Noa Asher, CEO, NTT Innovation Laboratory Israel		
	Dr Atsuko Higashino, Associate Professor, Faculty of Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba		
	Tametoshi Tsutsumi, General Manager, Mitsui & Co (Tel Aviv)		
	Kazuhide Kimura, Manager Global Japanese Practices, KPMG Israel		
	Dr Gedaliah Afterman, Head Asia-Israel Policy Program, Abba Eban Institute for International Diplomacy, Reichman University		

第四に、ROLES は日本とイスラエルの国交樹立 70 周年となる 2022 年という節目に、「イスラエル月間@東大駒場リサーチキャンパス」と称する、日本・イスラエル関係、イスラエル・アラブ諸国関係、グリーンテック、ブロックチェーンとその政策的含意、気候変動などに関する多種多様なテーマを取り上げたウェビナーを 1 か月かけて開催し、エルサレム＝ヘブライ大学、イスラエル・イノベーション研究所、テルアビブ大学モシェダヤン中東アフリカ研究センター等多くのイスラエル大学・研究機関の研究者との議論を深めた。その概要は以下の通り。

年月日	会合名／分科会名	登壇者（所属）	事前登録人数	Zoom 参加人数
2022 / 02 / 17 (木)	セミナー イスラエル月間   Israel Month International Webinar #1: 新世界秩序におけるイスラエルと日本 ／中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会	ニシム・オトマズキン（エルサレム・ヘブライ大学人文学部長・教授）	136	143
		池田 明史（東洋英和女学院大学学長・教授）		
		池内 恵（東京大学先端科学技術研究センター・教授）		
2022 / 02 / 21 (月)	セミナー イスラエル月間   israel Month International Webinar #2: グリーンテックの未来：イスラエルの「気候テック」エコシステムからの示唆 ／中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会	ウリエル・クラール（イスラエル・イノベーション研究所 PLANETech・ディレクター）	42	45
		杉山 正和（東京大学先端科学技術研究センター・教授）		
		池内 恵（東京大学先端科学技術研究センター・教授）		
2022 / 02 / 22 (火)	セミナー イスラエル月間   Israel Month International Webinar #3: ブロックチェーン技術と公共政策：準備、適応、変革の方法 ／中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会	ミリー・ペリー（イノベーション、ブロックチェーン、R&Dの専門家兼コンサルタント・博士）	58	62
		秋山 信将（一橋大学法学研究科、国際・公共政策研究部・教授）		
		池内 恵（東京大学先端科学技術研究センター・教授）		
2022 / 02 / 24 (木)	セミナー イスラエル月間   Israel Month International Webinar #4: アブラハム合意とその帰結：進展と課題	ウジ・ラビ（テルアビブ大学モシェダヤン中東アフリカ研究センター・センター長・教授）	89	92
		ブランドン・フリードマン（テルアビブ大学モシェダヤン中東アフリカ研究センター・研究部門長・博士）		
		池内 恵（東京大学先端科学技術研究センター・教授）		
2022 / 02 / 27 (日)	セミナー イスラエル月間   #5 連続講義「ヘブライ語聖書研究・序論：4つのパースペクティブ」 未来の人文学に向けて：思想研究のための国際研究ネットワーク構築	ナフタリ・シュムエル・メシエル（エルサレム＝ヘブライ大学・上級講師）	43	27
2022 / 02 / 28 (月)	セミナー イスラエル月間   #6 連続講義「ヘブライ語	ナフタリ・シュムエル・メシエル（エルサレム＝ヘブライ大学・上級講師）	43	25

	聖書研究・序論：4つのパースペクティブ」未来の人文学に向けて：思想研究のための国際研究ネットワーク構築			
2022 / 03 / 04 (金)	講演 イスラエル月間   #7 特別講演「間宗教的学び：科学のみならず、アートとして」 未来の人文学に向けて：思想研究のための国際研究ネットワーク構築	フランシス・クルーニー (ハーヴァード大学・教授)	42	28
2022 / 03 / 07 (月)	セミナー イスラエル月間   #8: 地球科学は地球温暖化をどう捉えているか：海と空、大陸の西と東の違い 中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会	ヘツィ・ギルドール (エルサレム・ヘブライ大学地球科学研究所・教授) オリ・アダム (エルサレム・ヘブライ大学地球科学研究所・准教授) 中村 尚 (東京大学先端科学技術研究センター副所長・教授) 池内 恵 (東京大学先端科学技術研究センター・教授)	59	58
2022 / 03 / 09 (水)	セミナー イスラエル月間   #9: Science × Design Showcase 中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会	シャロン エラン (ヘブライ大学ラカー物理学研究所・教授) ベン ダビド マヤ (ベツアルエル美術デザインアカデミー製品設計・イノベーション) 杉原 加織 (東京大学生産技術研究所・講師) 池内 与志穂 (東京大学生産技術研究所・准教授) ロミ・ミクリンスキー (ベツアルエル美術デザインアカデミー) ユーリ・クレバノフ (東京大学生産技術研究所価値創造デザイン推進基盤 DLX デザインラボ)	約 50	約 50
2022 / 03 / 15 (火)	セミナー イスラエル月間   #10: 連続講読セミナー「『ゾハルの書』における神秘と解釈」 未来の人文学に向けて：思想研究のための国際研究ネットワーク構築	アヴィシヤイ・バル＝アシェル (エルサレム＝ヘブライ大学講師)	23	13
2022 / 03 / 16 (水)	セミナー イスラエル月間   #11: 連続講読セミナー「『ゾハルの書』における神秘と解釈」 未来の人文学に向け	アヴィシヤイ・バル＝アシェル (エルサレム＝ヘブライ大学・上級講師)	23	14

	て：思想研究のための 国際研究ネットワーク 構築		
--	--------------------------------	--	--

その他、10月に先端研客員准教授として着任され、ROLESの一員となったギブール・ドラモット・フランス国立東洋言語文化学院准教授を講師とする講演をオンライン開催した。概要は以下の通り。

年月日	会合名／分科会名	登壇者（所属）	事前登録 人数	Zoom 参加 人数
2021 / 12 / 10 (金)	講演 ドラモット客員准教授 による特別講義「イン ド太平洋地域の新国際 秩序と同盟関係」	ギブール・ドラモット(フラン ス国立東洋言語文化学院 (INALCO) 日本学部・准教 授)	約 30	約 30

### 3. 日本の主張の世界への積極的発信と国際世論形成への参画

#### (1) 国際ウェビナーの開催

今年度は以下の要領で公開の国際ウェビナーを開催した。

##### ①ROLES-IGSDA 共催ウェビナー

「Beware the Non-State Actors: Houthi Threats on the Gulf Countries (第1部)」

「The Eastern Question Redux? Turkey's Position between NATO and Russia (第2部)」

日時：2022年2月14日(月) 14:00-15:20 (第1部)、15:30-17:00 (第2部)

登壇者：サイイド・ゴネイム Institute of Global Security and Defense Affairs (IGSDA)

第1部ディスカッサント 池内 恵(東大先端研)、山口 亮(東大先端研)

第2部ディスカッサント 溝渕 正季(広島大学)、今井 宏平(アジア経済研究所)

参加人数：115名

##### ②イスラエル月間国際ウェビナー#4「アブラハム合意とその帰結：進展と課題」

日時：2022年2月24日(木) 16:00-17:30

開催形態：Zoom ウェビナー

登壇者：

ウジ・ラビ テルアビブ大学モシェ・ダヤン中東アフリカ研究センター

ブランドン・フリードマン テルアビブ大学モシェ・ダヤン中東アフリカ研究センター

“Saudi-Israeli Relations: Does the Road to Washington Run through Jerusalem? “Abraham

Accord and Its Consequences: What Is Gained and What Is Not (Yet)”

コメンテーター：池内恵

参加人数：92名

### ③国際会議「未来のイスラエル・日本・湾岸協力」

日時：2022年3月16日（水）16時-21時（日本時間）

主催：ライヒマン大学アバ・エバン外交研究所

協力：東大先端研創発戦略研究オープンラボ（ROLES）

開催場所：ライヒマン大学ヘルツェリア・キャンパス / オンライン同時中継

日本側参加者：谷口 智彦 慶應義塾大学、元内閣官房参与

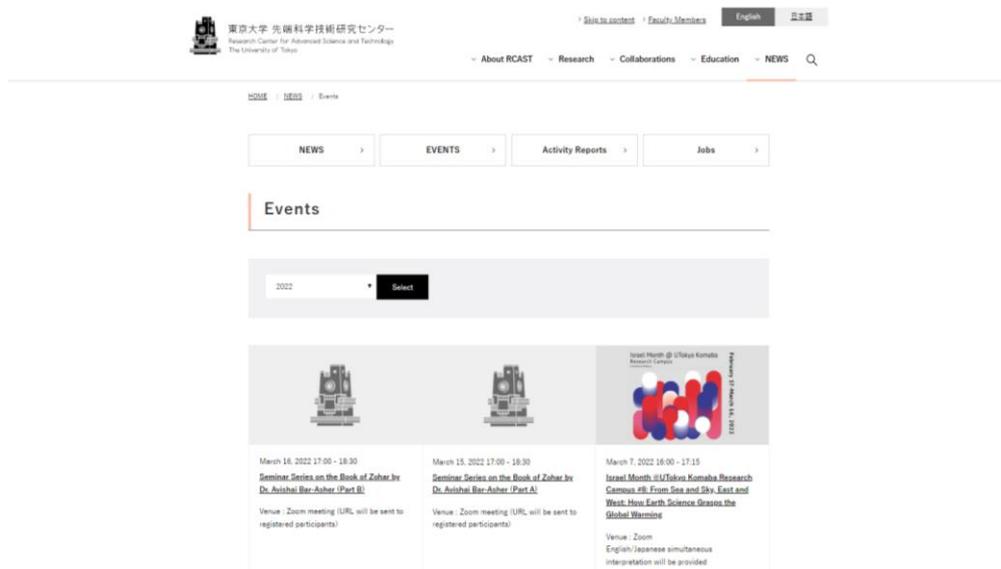
東野 篤子 筑波大学

兼原 信克 同志社大学、元内閣官房副長官補、国家安全保障局次長

参加人数：800名（対面100名、オンライン700名）

(1) (ROLES, RCAST) ウェブサイトでの英語でのシンポジウム・セミナーの広報の実施  
上記2.に記載した各種シンポジウム・セミナー等に関して、東京大学先端科学技術研究センターの英語版ウェブサイトにて告知した。

URL：<https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/en/news/events/index.html>



さらに、本補助金で立ち上げた大学内シンクタンク ROLES（詳細は4. (1)を参照）ウェブ  
サイト英語版でも英語版のイベント広報の英語版を掲載しているが（下図参照）、次年度に英語  
圏の読者にとって使いやすいユーザーインターフェースに改修し、より積極的に英語による広報  
を行っていく。

The image shows two screenshots of the ROLES website. The top screenshot displays a list of events under the heading "Events". The list includes:

- 2021.03.12 (Fri.) Seminar**: "Frontiers of Security the Present Day Egypt is Faced With: Generational Transformation of Media, Cyber-Attacks and Public Health Crisis".
- 2021.03.05 (Fri.) Lecture**: "Israel Week | Online Special Lecture "The Comparative Study of the Abrahamic Religions: Heuristic Gains and Cognitive Pitfalls".
- 2021.03.04 (Thu.) Symposium**: "Israel Week | Online International Symposium #5: Managing Security Risks of Digital Transformation and Emerging Technologies".
- 2021.02.03 (Wed.)**: "Israel Week | Online International Symposium #3: SCIENCE Inspires DESIGN Inspires SCIENCE: Mechanism of Emergence".

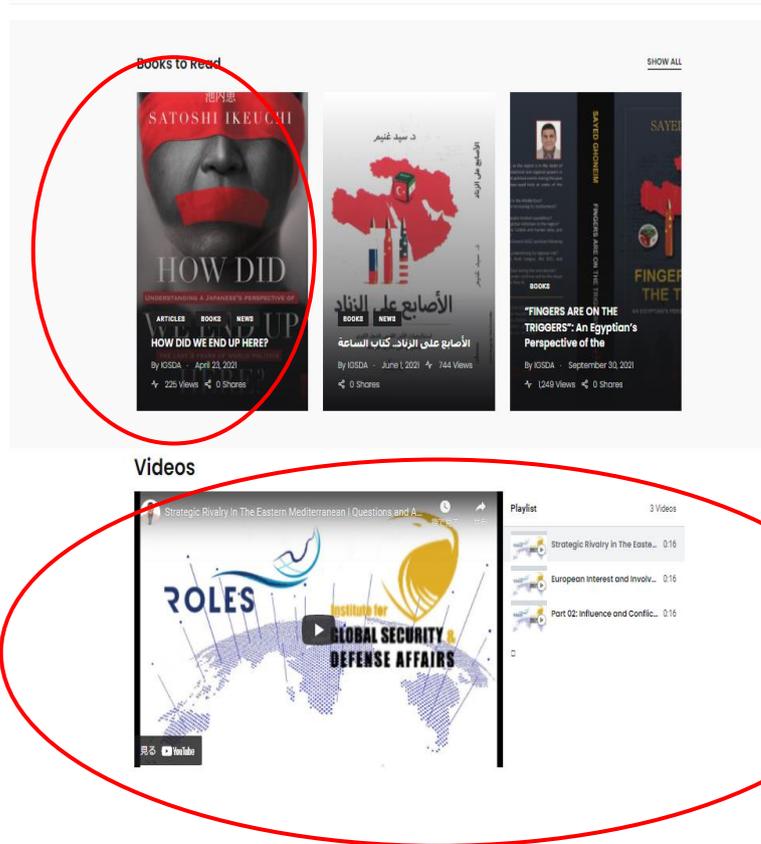
The bottom screenshot shows a detailed view of the seminar titled "Frontiers of Security the Present Day Egypt is Faced With: Generational Transformation of Media, Cyber-Attacks and Public Health Crisis". It includes registration information and a description of the event.

URL: <https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/en/events>

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/en/event/16>

さらに、UAE シンクタンク IGSDA ウェブサイトのトップページには ROLES へのリンクが張られている他、共催事業や書籍について、ウェブサイトにて紹介している（下図参照）。

URL: <https://igsda.org/>



## (2) 英語チャンネル (ROLES Talk) の実施

また、今年度は海外シンクタンクや有識者との連携という観点に加え、ROLES の名前や知見を対外発信すべく、「ROLES Talk」という動画コーナーを設け、時宜にかなったテーマについて、しかるべく海外の有識者と議論し、その模様を動画として掲載した。その概要、視聴回数は以下のとおりである。インド太平洋における海軍の展開や、北朝鮮、民間航空の安全保障をテーマとした番組については、視聴回数が 1,000 回前後となり、国内外の関心の高さが伺える。

日付	タイトル	登壇者・講演者	視聴数
2021/10/22	Episode 001: Naval Developments in the Indo-Pacific (English subtitles)	Collin Koh Swee Lean (@CollinSLKoh Research Fellow, S. Rajaratnam School of International Studies)	1086 回
		Ryo Hinata-Yamaguchi (@tigerrhy Project Assistant Professor, Research Center for Advanced Science and Technology of the University of Tokyo)	
2021/10/31	Episode 002: Taiwan's Security and Defense Planning (English subtitles)	Wu Shang-Su (Assistant Professor, Rabdan Academy)	525 回
		Ryo Hinata-Yamaguchi (@tigerrhy Project Assistant Professor, Research Center for Advanced Science and Technology of the University of Tokyo)	

2021/11/25	Episode 003: Political Developments in Libya and Their Implications	クリストファー・ラモント (@ck_lamont 東京国際大学国際戦略研究所准教授)	322 回
		山口 亮 (@tigerrhy 東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	
2021/12/16	Episode 004: North Korea's Weapons Program and Its Impact on South Korea's Security	キム・ヒョク (ミドルベリー国際大学院 モントレー校ジェームズ・マーティン不拡散研究所研究員)	243 回
		イ・ギョンソク (テキサス A&M 大学院政治学部博士課程学生)	
		山口 亮 (@tigerrhy 東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	
2021/12/16	Episode 005: Japan-US Alliance: Prospects and Issues	ブラッド・グロッサーマン (多摩大学ルール形成戦略研究所 (CRS) 副所長、パシフィック・フォーラム シニア・アドバイザー)	557 回
		山口 亮 (@tigerrhy 東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	
2022/1/31	Episode 006: Developments in North Korea	立田 由紀恵 (東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)	855 回
		山口 亮 (@tigerrhy 東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	
2022/2/25	Episode 007: Issues in Civil Aviation Security	クリストファー・ラモント (@ck_lamont 東京国際大学国際戦略研究所准教授)	919 回
		山口 亮 (@tigerrhy 東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	

(3) 英語でのコメンタリー「ROLES Insight」の発信

また、今年度は英語でのコメンタリー「ROLES Insight」を発足させ、山口座長、小泉座長を中心に、以下の6本を発表した。

日付	タイトル	筆者
2021.10.18	Understanding Military Modernization: It's All about Effects	Ryo Hinata-Yamaguchi
2022.01.30	What is Behind North Korea's Recent Missile Tests?"	Ryo Hinata-Yamaguchi
2021.10.25	Enhancing Civil Aviation Security: The Time is Now	Ryo Hinata-Yamaguchi
2021.11.16	The 'Historical Resolution' and the Xi Jinping Leadership	Ryo Hinata-Yamaguchi
2021.11.22	New Infrastructures on Matua Island: Enhancements in Russia's Anti-Access in the Pacific?	Yu Koizumi
2021.12.31	Prospects for Submarine-Launched Cruise Missiles in the Japan Maritime Self-Defense Force	Ryo Hinata-Yamaguchi
2022.01.30	What is Behind North Korea's Recent Missile Tests?"	Ryo Hinata-Yamaguchi

(4) 本研究会委員による英語 (外国語) での発信実績 (シンポジウム・セミナー)

日付	登壇者 (敬称略)	報告題目 (論題含む)	会議名	URL	開催機関
2021年7月	池内恵		Post-COVID-	<a href="https://www">https://www</a>	TOBB ETÜ

14日			19 international order: A Japanese View	.youtube.com/watch?v=XtdHGC0aDtw&ab_channel=TOBETUSU%C4%B0	
2022年3月25日	中山俊宏		Europe, Japan, and the United States in a Changing World	https://sais.jhu.edu/kissinger/news-press/europe-japan-and-the-united-states-in-a-changing-world-workshop-march-2022	ジョンズ・ホプキンス大学キッシンジャー・センター
2022年3月14日	中山俊宏	Japan's Foreign Policy, FOIP amid changing Global Order, Japan's Foreign Policy Convergence in Georgia	Georgia and Japan in the Changing World	https://www.facebook.com/events/5268250709873685/?ti=ls	ジョージア戦略国際研究財団
2022年3月3日	中山俊宏	激化する米中競争 (1) : 価値と技術	第3回東京グローバル・ダイアログ	https://www.jiia.or.jp/TGD/tgd3/	日本国際問題研究所
2021年10月25日	中山俊宏		バイデン政権の対外政策の基軸は何か、日本・アジアへの影響は？	https://www.jcer.or.jp/holding-seminar/20211025.html	ブルッキングス研究所・日経センター
2021年6月26日	中山俊宏		Future of American World Order	https://www.youtube.com/watch?v=75PvTQf8fdg	Nepal Institute for International Cooperation and Engagement
2021年5月25日	中山俊宏		The Election, the Riot, and the New President: Japanese Views on the Transition from Trump to Biden	https://fsi.stanford.edu/events/election-riot-and-new-president-japanese-views-transition-trump-biden	スタンフォード大学

2022年3月7日	鶴岡路人		Setting Sail for the Indo-Pacific: the Search for an EU Pivot to Asia	<a href="https://www.ispionline.it/en/eventi/evento/asia-europe-initiative-setting-sail-indo-pacific-search-eu-pivot-asia">https://www.ispionline.it/en/eventi/evento/asia-europe-initiative-setting-sail-indo-pacific-search-eu-pivot-asia</a>	Italian Institute for International Political Studies
2022年1月27日	鶴岡路人		Ukraine and Japan in regional and global context	<a href="http://neweurope.org.ua/en/drugyj-mizhnarodnyj-forum-ukrayina-ta-yaponiya-v-regionalno-mu-ta-globalnomu-konteksti-27-01-2022/">http://neweurope.org.ua/en/drugyj-mizhnarodnyj-forum-ukrayina-ta-yaponiya-v-regionalno-mu-ta-globalnomu-konteksti-27-01-2022/</a>	新欧州センター
2021年11月8日	鶴岡路人		インド太平洋における欧州軍事プレゼンスの政治的意味	<a href="https://www.jiia.or.jp/entreport/2021-11-10-teip.html">https://www.jiia.or.jp/entreport/2021-11-10-teip.html</a>	日本国際問題研究所
2021年11月2日	鶴岡路人	Watching European States Grow More Committed to Asia from the Perspective of Japan	The Growing Role of Europe in Asia: Connecting the Atlantic and the Indo-Pacific	<a href="https://www.rand.org/events/2021/11/02.html">https://www.rand.org/events/2021/11/02.html</a>	ランド研究所
2021年9月10日	鶴岡路人		A pillar of stability in an unstable world: Strengthening EU-Japan maritime security & defence cooperation	<a href="https://www.ceps.eu/ceps-events/a-pillar-of-stability-in-an-unstable-world-strengthening-eu-japan-maritime-security-defence-cooperation/">https://www.ceps.eu/ceps-events/a-pillar-of-stability-in-an-unstable-world-strengthening-eu-japan-maritime-security-defence-cooperation/</a>	Centre for European Policy Studies
2021年9月2日	鶴岡路人	US and the Evolving International Order: Mapping the	8th Helsinki Summer Session	<a href="https://www.fiia.fi/tapahtuma/8th-helsinki-summer-session-u-s-">https://www.fiia.fi/tapahtuma/8th-helsinki-summer-session-u-s-</a>	Finnish Institute of International Affairs

		evolving (dis)order in the Indo-Pacific: views from and on the region		and-the-evolving-international-order-13	
2022年3月9日	小谷哲男	ウクライナ戦争の中台関係へのインパクト	高まる台湾へのチャイナ・リスクとウクライナ戦争の影: 問われる日米同盟戦略	<a href="https://www.jfir.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/220322_info.pdf">https://www.jfir.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/220322_info.pdf</a>	日本国際フォーラム
2022年3月7日	小谷哲男		Why Yokosuka Hosts an Aircraft Carrier & Why it will Host a Second	<a href="https://www.ycaps.org/spf-kotani">https://www.ycaps.org/spf-kotani</a>	笹川平和財団・横須賀アジア太平洋研究評議会
2022年3月3日	小谷哲男	激化する米中競争(2): 海洋	第3回東京グローバル・ダイアログ	<a href="https://www.jiia.or.jp/TGD/tgd3/">https://www.jiia.or.jp/TGD/tgd3/</a>	日本国際問題研究所
2022年2月18日	小谷哲男		第28回日米安保セミナー	<a href="https://www.jiia.or.jp/eventreport/the_28th_us-japan_security_seminar.html">https://www.jiia.or.jp/eventreport/the_28th_us-japan_security_seminar.html</a>	日本国際問題研究所・米戦略国際問題研究所 (CSIS)
2022年1月25日	小谷哲男		Watch again! Europe's Strengthening Ties with the Indo-Pacific Region: The Interests of Estonia and Japan	<a href="https://icds.ee/en/webinar-estonia-japan/">https://icds.ee/en/webinar-estonia-japan/</a>	The International Centre for Defence and Security
2021年12月3日	小谷哲男	Maritime Security Dynamics in the Indo-Pacific	THE WORLD OCEAN - A SPACE FOR COOPERATION AND COMPETITION	<a href="https://www.imemo.ru/files/File/ru/conf/2021/02122021/Program_02122021_EN-4.pdf">https://www.imemo.ru/files/File/ru/conf/2021/02122021/Program_02122021_EN-4.pdf</a>	The Institute of World Economy and International Relations
2021年11月29日	小谷哲男	アジア太平洋の海事状況と海洋問題	東海問題と日中関係	<a href="http://ijs.cssn.cn/xsdt/xshy/202112/t20211202_5378776.shtml">http://ijs.cssn.cn/xsdt/xshy/202112/t20211202_5378776.shtml</a>	中国社会科学院日本研究所
2021年10月8日	小谷哲男		Eleventh Annual South	<a href="https://www.csis.org/eve">https://www.csis.org/eve</a>	CSIS

			China Sea Conference	nts/elevenh-annual-south-china-sea-conference-session-four	
2021年9月29日	小谷哲男	インド太平洋戦略と日米・米韓同盟	バイデン政権と朝鮮半島情勢	<a href="http://www.kieas.keio.ac.jp/information/000526.html">http://www.kieas.keio.ac.jp/information/000526.html</a>	慶應義塾大学東アジア研究所
2021年9月20日	小谷哲男		Realising the QUAD's Maritime Potential	<a href="https://www.delhipolicygroup.org/events/webinars/dpg-webinar-on-realising-the-quads-maritime-potential.html">https://www.delhipolicygroup.org/events/webinars/dpg-webinar-on-realising-the-quads-maritime-potential.html</a>	Delhi Policy Group
2022年3月3日	鈴木一人	国際社会の対応(2): 価値と技術	第3回東京グローバル・ダイアログ	<a href="https://www.jiia.or.jp/TGD/tgd3/">https://www.jiia.or.jp/TGD/tgd3/</a>	日本国際問題研究所
2022年1月25日	鈴木一人		Watch again! Europe's Strengthening Ties with the Indo-Pacific Region: The Interests of Estonia and Japan	<a href="https://icds.ee/en/webinar-estonia-japan/">https://icds.ee/en/webinar-estonia-japan/</a>	The International Centre for Defence and Security
2022年3月23日	村田晃嗣		Position of Taiwan in U.S., Japan and China Relations	<a href="https://korbel.du.edu/news-events/all-articles/event-position-taiwan-us-japan-and-china-relations">https://korbel.du.edu/news-events/all-articles/event-position-taiwan-us-japan-and-china-relations</a>	デンバー大学・コーベルスクール
2022年3月9日	川島真	ウクライナ戦争の中台関係へのインパクト	高まる台湾へのチャイナ・リスクとウクライナ戦争の影: 問われる日米同盟戦略	<a href="https://www.jfir.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/220322_info.pdf">https://www.jfir.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/220322_info.pdf</a>	日本国際フォーラム
2021年11月29日	川島真	国際的変化のなかでの日中関係	東海問題と日中関係	<a href="http://ijs.cssn.cn/xsdt/xshy/202112/t20211202_5378776.sht">http://ijs.cssn.cn/xsdt/xshy/202112/t20211202_5378776.sht</a>	中国社会科学院日本研究所

2022年3月9日	佐橋亮	台湾をめぐるチャイナ・リスクと日米の対応	高まる台湾へのチャイナ・リスクとウクライナ戦争の影: 問われる日米同盟戦略	ml <a href="https://www.jfir.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/220322_info.pdf">https://www.jfir.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/220322_info.pdf</a>	日本国際フォーラム
-----------	-----	----------------------	---------------------------------------	---	-----------

(5) メディア・書籍での発信実績

事業総括者の池内教授、副事業総括者の小泉講師、山口特任助教による日本語・英語・アラビア語での発信実績は以下のとおりである。

①池内教授

日付	媒体	番組名・タイトル等
2021年9月1日	IGSDA	<a href="#">In the Rearguard of the War of Retreat</a>
2021年9月4日	Alroeya	<a href="#">«الحرس الخلفي».. المهمة النبيلة</a>
2021年9月5日	産経新聞	<a href="#">混迷するアフガン、日本がすべきこと</a> 佐藤正久/池内恵/宮家邦彦
2021年9月9日	IGSDA	<a href="#">Generation of 9/11</a>
2021年9月11日	Alroeya	<a href="#">11 سبتمبر.. والذكرى الـ20</a>
2021年9月11日	Nikkei Asia	<a href="#">The fire in the ashes of America's Afghanistan defeat</a>
2021年9月16日	IGSDA	<a href="#">Bridging Many Gaps</a>
2021年9月19日	Alroeya	<a href="#">بتروال الشرق الأوسط.. والاستراتيجية البديلة</a>
2021年9月19日	信濃毎日新聞	米国の揺らぎ 同盟国の不安
2021年9月23日	IGSDA	<a href="#">AUKUS Out of the Blue</a>
2021年9月25日	Alroeya	<a href="#">«أوكرس».. اسم جديد في عالم التحالفات</a>
2021年9月30日	IGSDA	<a href="#">Japan's 100th Prime Minister: Consolidating the Change</a>
2021年10月2日	Alroeya	رئيس الوزراء الياباني رقم: 100
2021年10月5日	ASHARQ AL-AWSAT	<a href="#">End of the Age of the Middle East and the New Scramble for the Indo-Pacific</a>
2021年10月7日	IGSDA	Who Lost Australia?
2021年10月10日	Alroeya	أستراليا.. الخروج من عباءة الصين
2021年10月28日	秋田魁新報	<a href="#">さきがけ政経懇話会：米軍アフガニスタン 撤退と中東情勢</a>
2021年10月30日	新潮社フォーサイト	<a href="#">池内恵の中東通信：サウジの「ネット・ゼロ」目標のタテマエとホンネ</a>
2021年10月31日	東京银杏会「银杏」	2021年第22号 中東のまだら状の秩序
2021年11月17日	新潮社フォーサイト	<a href="#">AUKUS の衝撃</a> <a href="#">東大先端研創発戦略研究オープンラボ：ROLESCast#004</a>

2021年11月23日	読売新聞	<a href="#">文化欄 ハンチントン『文化の衝突』刊行25年 影響と評価 待鳥聡史京都大学教授との対談</a>
2021年12月23日	ASHARQ AL-AWSAT 『シャルクルアウサト』	<a href="#">AUKUS: 2021年に世界を揺るがした発表</a>
2021年12月28日	日本経済新聞	<a href="#">タリバン復権、テロ脅威再び〈混迷2021〉</a> <a href="#">米軍、アフガンから撤収完了 バイデン外交に不信感</a> 北米
2021年12月30日	日本経済新聞	<a href="#">エネルギー安保に悪影響</a>
2022年1月5日	UP 2022年1月号 (東京大学出版会)	<a href="#">[世界のいまを読む] 7 「アラブの春」から一〇年 一〇の論点 池内 恵</a>
2022年1月28日	NikkeiAsia	<a href="#">OPINION</a> <a href="#">Japan's Middle East policy needs fresh thinking</a> <a href="#">New Asian defense pacts can help set a new tone from the Indo-Pacific to the Gulf</a>
2022年3月2日	シャルクルアウサト紙	<a href="#">Satoshi Ikeuchi, "Al-Sin fi Hirati min Amri-hi Khilala Harb Ukraniya"</a>
2022年3月2日	ASHARQ AL-AWSAT	<a href="#">China at a Loss in the Ukraine War</a>
2022年3月12日	日本経済新聞	<a href="#">ロシア侵攻、過去の戦術と共通点 シリアでも都市壊滅 キエフの「グロズヌイ化」に懸念 (ひとこと解説)</a>
2022年3月14日	"The Arena"-Diplomacy and Foreign Relations (The Abba Eban Institute for International Diplomacy AEI)	<a href="#">After 70 Years, The Time Has Come for a Japan-Israel Strategic Partnership</a>
2022年3月14日	"The Arena"-Diplomacy and Foreign Relations (The Abba Eban Institute for International Diplomacy AEI)	<a href="#">ヘブライ語</a>
2022年3月15日	Nikkei Asia	<a href="#">OPINION</a> <a href="#">Ukraine war challenges world's middle powers to lead</a> <a href="#">Japan and Israel must embrace new initiatives in the Middle East and Asia</a>
2022年3月19日	日本経済新聞	<a href="#">ウクライナ危機、中東への影響は 池内恵東大教授に聞く</a>
2022年3月31日	SAKISIRU	<a href="#">ロシア「ウクライナ侵攻」で日本も変わる 軍事忌避、SNS陰謀</a>

日	論を乗り越えろ！
---	----------

②小泉講師

日付	媒体	番組名・タイトル等
2021年3月25日	タス通信	Эксперт: КНДР могла запустить копии российских ракет "Искандер"
2021年9月10日	日本国際フォーラム	<a href="#">アフガニスタンの情勢急変に関するロシアの対応</a>
2021年9月13日	NHK NEWS WEB	<a href="#">【詳しく】 専門家に聞く 北朝鮮巡航ミサイル発射</a>
2021年9月13日	TBS ラジオ	<a href="#">荻上チキ・Session 「北朝鮮が新型巡航ミサイルの発射実験」</a>
2021年9月14日	Cumhuriyet	<a href="#">"Kuzey Kore füzelerinin ana hedefi Japonya ve Japonya'da yer alan ABD üsleri"</a>
2021年9月14日	Yeni Akit	<a href="#">Gerilim dorukta! "Yeni bir tehdit" deyip duyurdu</a>
2021年9月14日	Milyet	<a href="#">Japon uzman Kuzey Kore'nin füze denemesi için 'tehdit' dedi</a>
2021年9月16日	アラブニュース	<a href="#">北朝鮮のミサイルは日本の「新たな脅威」</a>
2021年9月16日	THIS WEEK IN ASIA	<a href="#">With few options to rein in North Korea, missile launches won't stop: analysts</a>
2021年9月30日	毎日新聞	<a href="#">北朝鮮ミサイル 「国外から継続的に技術」 専門家指摘</a>
2021年9月30日	新潮社 フォーサイト	<a href="#">日本の死角「サイバー・プロパガンダ」：「情報安全保障」で新型戦争に備えよ</a>
2021年10月1日	毎日新聞	<a href="#">クローズアップ：北朝鮮、硬軟で揺さぶり ミサイル発射、韓国と通信再開   毎日新聞 (mainichi.jp)</a>
2021年10月8日	BS 日テレ	<a href="#">深層 NEWS #2018 中国の無人機戦力とは 台湾国防部長が危機感 極超音速ミサイル分析</a>
2021年10月10日	BS 朝日	<a href="#">日曜スクープ 【徹底解説ニュース最前線】 新政権が向き合う安全保障 問われる日本 ①北朝鮮の真意は!? “ミサイル連発”と”談話外交”</a>
2021年10月13日	東京新聞	<a href="#">北朝鮮が次々と新兵器を開発するワケは...金正恩総書記「時代的要求」と正当化</a>
2021年10月17日	毎日新聞 速報	<a href="#">中国、新ミサイル実験成功 宇宙利用の極超音速兵器 米 MD 網回避か</a>
2021年10月18日	毎日新聞 朝刊	<a href="#">中国新兵器、実験成功 極超音速、米防衛網を回避 英報道</a>
2021年10月19日	BS テレ東	<a href="#">日経ニュースプラス9 「北朝鮮ミサイル発射の実像」</a>
2021年10月19日	テレビ朝日	<a href="#">報道ステーション 新型 SLBM か？北朝鮮が日本海に弾道ミサイル発射</a>
2021年10月20日	NHK NEWS WEB	<a href="#">北朝鮮 新型 SLBM 発射実験 “ミサイル技術向上か” 専門家</a>
2021年10月20日	時事通信	<a href="#">北朝鮮、ミサイル多様化図る 小型の新型 S L B Mか</a>

日		
2021年 10月25日	TBS ラジオ	<a href="#">荻上チキ・Session「総選挙2021・私の論点」：小泉悠さん</a>
2021年 10月28日	『戦略研究』第29号 戦略研究学会編 芙蓉書房出版	<a href="#">「ロシアの将来戦ビジョンに見る闘争観」</a>
2021年 10月30日	ニコニコ放送	<a href="#">小泉悠×渡部恒雄×鶴岡路人×合六強「防衛外交とは何か？」 #国際政治 ch 107</a>
2021年 10月31日	BS 朝日	<a href="#">日曜スクープ【徹底解説ニュース最前線】</a>
2021年 11月2日	シラス	<a href="#">小泉悠×真野森作「ロシアにとって国境とはなにか2：ソ連崩壊30年のいま——『「チェチェン化」するロシア』（東洋書店新社）刊行記念」 *有視聴 2022年5月2日まで</a>
2021年 11月4日	ニッポンドットコム	<a href="#">混迷するアフガニスタン—周辺国の視線</a> <a href="#">中央アジアにおけるロシアの軍事プレゼンスとアフガニスタン情勢のインパクト</a>
2021年 11月25日	BS 日テレ[深層NEWS]	<a href="#">#2052 宇宙ごみで意外な影響 ロシア衛星破壊の真意 安全保障への影響は？ コメント抜粋1</a>
2021年 11月25日	BS 日テレ[深層NEWS]	<a href="#">#2052 宇宙ごみで意外な影響 ロシア衛星破壊の真意 安全保障への影響は？ コメント抜粋2</a>
2021年 11月25日	BS 日テレ[深層NEWS]	<a href="#">#2052 宇宙ごみで意外な影響 ロシア衛星破壊の真意 安全保障への影響は？</a>
2021年 11月27日	朝日新聞デジタル	<a href="#">（耕論）政治とSNSの闇 鳥海不二夫さん、小泉悠さん、平林紀子さん</a>
2021年 12月6日	テレビ朝日[大下容子ワイド！スクランブル]	<a href="#">&lt;ピックアップNEWS&gt;ロシア軍・来年早々ウクライナ侵攻か・米国とロシア首脳会談</a>
2021年 12月10日	Yahoo!ニュース個人	<a href="#">米露首脳会談でも止まらない ロシアによるウクライナ侵攻の危機</a>
2021年 12月16日	BS-TBS 報道1930	<a href="#">ロシア、再びウクライナ侵攻か?...プーチン大統領の狙いは</a>
2021年 12月28日	日本経済新聞	<a href="#">ロシア軍事侵攻の本気度 ブラフと思わせない巧妙さ</a>
2021年 12月28日	日経ビジネス	<a href="#">日本の防衛に極超音速兵器が必要な理由</a>
2022年 1月1日	毎日新聞	<a href="#">オシント新時代～荒れる情報の海</a> <a href="#">ロシア政府系メディア、ヤフコメ改ざん転載か 専門家「工作の一環」</a>
2022年 1月2日	タス通信（ロシア）	<a href="#">Эксперт: рост оборонных расходов Японии не должен повлиять на переговорный процесс с РФ</a>
2022年 1月4日	TBS ラジオ	<a href="#">特集「2022年、世界はどうなる？ 米中露と日本」</a>
2022年 1月	NHK NEWS	<a href="#">北朝鮮のミサイル “新型の可能性 技術向上で新段階に” 専門家</a>

月 6 日	WEB	
2022 年 1 月 6 日	Yahoo!ニュース 時事通信	<a href="#">北朝鮮「極超音速ミサイル」試射 不規則な軌道、新型か（時事通信） - Yahoo!ニュース</a>
2022 年 1 月 11 日	テレビ朝日	<a href="#">ワイド！スクランブル&lt;NEWS ドリル&gt;なぜ？前大統領を猛批判・カザフスタンで大規模デモ</a>
2022 年 1 月 12 日	NHK NEWS WEB	<a href="#">キム総書記立ち会い発射 専門家“軌道曲がるミサイル開発か”</a>
2022 年 1 月 12 日	東京新聞	<a href="#">核抑止論へ走りだしたロシア...太平洋にらみ核弾頭配備 最新型原子力潜水艦を異例公開、見学ルポ</a>
2022 年 1 月 13 日	タス通信（ロシア）	<a href="#">Эксперт: КНДР испытала в январе упрощенные варианты гиперзвукового оружия</a>
2022 年 1 月 14 日	新潮社 フォーサイト	<a href="#">ROLESCast#007 カザフスタン情勢の急転—突発的な政権動揺の背景と影響</a>
2022 年 1 月 16 日	BS 朝日	<a href="#">日曜スクープ 【ニュースの本質に向き合う！時事論考】ロシアや中国に続き北朝鮮も...極超音速ミサイル“開発競争”の今</a>
2022 年 1 月 18 日	東京新聞	<a href="#">千島列島、北方領土周辺...原子力潜水艦行き交うオホーツク海 ロシア核戦略の「聖域」に</a>
2022 年 1 月 18 日	東京新聞	<a href="#">「戦術誘導弾を発射実験」と北報道 実戦配備済みの米ミサイルと似たタイプか</a>
2022 年 1 月 18 日	Фонд стратегической культуры	<a href="#">Японцев пригласили на новейшую российскую атомную подводную лодку</a>
2022 年 1 月 18 日	NHK NEWS WEB	<a href="#">北朝鮮ミサイル開発「2種類使い分け“第2サイクル”に」専門家</a>
2022 年 1 月 19 日	BS 日テレ	<a href="#">深層 NEWS #2081 緊迫！ウクライナ情勢 プーチン氏の狙いは？今後の展開を徹底議論</a>
2022 年 1 月 19 日	読売新聞	<a href="#">「深層NEWS」ウクライナ情勢「露が本格的な戦争準備しているのは間違いない」</a>
2022 年 1 月 21 日	フェニックステレビ（鳳凰衛視）（香港）	<a href="#">朝鮮屢試射導弾 日本多次譴責並表示憂慮</a>
2022 年 1 月 25 日	Abema Prime	<a href="#">Abema Times 「安全保障の専門家は“始まる”という前提で考え始めている。2月10日～20日が非常に危ない」ロシアによるウクライナ侵攻の可能性、小泉悠氏に聞く</a>
2022 年 1 月 26 日	ABEMA ニュース【公式】	<a href="#">【開戦】「見えない戦争を起こす可能性がある」ロシアはウクライナに侵攻？プーチン大統領のお心次第？米露で手打ちは？小泉悠さんに聞く</a>
2022 年 1 月 27 日	朝日新聞デジタル	<a href="#">船体に謎の数字「436」 流れ着いた鋼鉄の船、なぜ能登半島に</a>
2022 年 1 月 28 日	朝日新聞デジタル	<a href="#">ウクライナ緊迫、ロシア軍10万人の意味とは 節目は北京五輪後か</a>
2022 年 1 月 28 日	NHK	<a href="#">ニュースウォッチ9 緊迫ウクライナ ロシアはどう動く？安全保障の専門家、小泉悠さんインタビュー</a>
2022 年 2 月 5 日	BS テレ東	<a href="#">日経プラス9 サタデー ニュースの疑問 2022年2月5日（土）《疑問2》中露首脳会談でウクライナ情勢は？対米戦略</a>
2022 年 2 月 5 日	Abema Prime	<a href="#">Abema Times 「最も穏当なシナリオは“第2次ミンスク合意”、最も悪いシナリオは“大規模な戦争の発動”...ロシアによるウクライナ侵攻の可能性、小泉悠氏に聞く（2）</a>
2022 年 2 月 6 日	NHK	<a href="#">日曜討論「緊迫ウクライナ情勢 事態打開へ各国は」</a>
2022 年 2 月 11 日	産経新聞	<a href="#">日本は中国見据え欧米と連携を 小泉悠氏</a>
2022 年 2 月 12 日	産経新聞	<a href="#">防衛省が「情報戦」へ担当設置 中露念頭</a>
2022 年 2 月 15 日	NHK	<a href="#">ニュースウォッチ9 緊迫ウクライナ最新！ 小泉悠さん「軍事的危機去ったと簡単に言えない」16日</a>
2022 年 2 月	テレビ朝日	<a href="#">テレ朝ニュース 緊迫ウクライナ 侵攻回避のカギは「ミンスク合</a>

月 21 日		<a href="#">意</a>
2022 年 2 月 21 日	テレビ朝日	<a href="#">羽鳥慎一モーニングショー「8年前と状況が酷似」ウクライナ情勢と「五輪直後」</a>
2022 年 2 月 22 日	テレビ朝日	<a href="#">テレ朝ニュース ウクライナ緊迫の局面 ロシアさらなる“強硬姿勢”か 専門家分析</a>
2022 年 2 月 22 日	ニッポン放送	<a href="#">飯田浩司の OK! Cozy up! ウクライナ新ロシア地域 露大統領が国家として承認→小泉悠さんに聞く</a>
2022 年 2 月 22 日	ニッポン放送	<a href="#">News Online ロシア軍が戦闘に入る確率が高い ～プーチン大統領がウクライナ東部地域の独立を承認</a>
2022 年 2 月 22 日	ニッポン放送	<a href="#">新行市佳の OK! Cozy up! ロシア軍が戦闘に入る確率が高い ～プーチン大統領がウクライナ東部地域の独立を承認</a>
2022 年 2 月 22 日	夕刊フジ	<a href="#">プーチン大統領、ロシア軍“進撃”命令 ウクライナ東部の「独立」を承認 米とEUは制裁で対抗 識者「さらにエスカレーションの恐れ」</a>
2022 年 2 月 22 日	NHK	<a href="#">ニュースウォッチ9 エピソード  緊迫ウクライナ情勢【ダイジェスト版】なぜ今？最新情勢をわかりやすく</a>
2022 年 2 月 22 日	Abema ニュース	<a href="#">2月16日放送【ウクライナ危機】プーチン大統領が“最も恐れていること”は？本当に回避できたのか？【小泉悠解説】</a>
2022 年 2 月 23 日	BS 日テレ	<a href="#">深層 NEWS 混迷のウクライナ情勢 ▽「侵攻の始まりだ」米パイデン氏対露制裁発表</a>
2022 年 2 月 24 日	テレビ朝日	<a href="#">ニュースステーション (1) 攻撃には“肯定的”意見も？ロシア国内・アメリカの反応 専門家・記者解説</a>
2022 年 2 月 24 日	テレビ朝日	<a href="#">ニュースステーション (2) ウクライナ危機 ロシア全面侵攻 今後の展開は？国際社会の対応は？専門家・記者解説</a>
2022 年 2 月 24 日	テレビ朝日	<a href="#">ニュースステーション (3) ロシア・ウクライナ全面侵攻 今後の世論は？</a>
2022 年 2 月 24 日	産経新聞	<a href="#">ウクライナ侵攻の狙い 小泉悠、畔蒜泰助両氏にきく</a>
2022 年 2 月 24 日	テレビ東京	<a href="#">ワールドビジネスサテライト 駐日ウクライナ大使！「ロシア大使発言」に猛反発</a>
2022 年 2 月 25 日	テレビ朝日	<a href="#">グッドモーニング「速報 チェルノブイリ原発制圧 ロシアがウクライナ侵攻」ロ軍高性能兵器で攻撃 プーチン氏の狙いは？専門家情勢解説</a>
2022 年 2 月 25 日	BS フジ	<a href="#">Live プライムニュース「ウクライナに軍事侵攻 プーチンの次なる一手」</a>
2022 年 2 月 25 日	Abema ニュース	<a href="#">2月25日放送【ウクライナ軍事侵攻】ロシアの目的は？「何を求めているのかが見えない」ゼレンスキー大統領拘束もありえる！？徹底解説【小泉悠】</a>
2022 年 2 月 27 日	NHK	<a href="#">日曜討論（前半）「ウクライナ危機 ロシア軍侵攻に国際社会は」</a>
2022 年 2 月 27 日	NHK	<a href="#">日曜討論（後半）「ウクライナ危機 ロシア軍侵攻に国際社会は」</a>
2022 年 2 月 28 日	テレビ朝日	<a href="#">制裁強化で「ATMに行列」「反戦ムード」プーチン氏は追い詰められている？総力解説</a>
2022 年 3 月 1 日	ニッポン放送	<a href="#">飯田浩司の OK! Cozy up!</a>
2022 年 3 月 2 日	テレビ朝日	<a href="#">ウクライナ非武装化は「大坂夏の陣」専門家が「モーニングショー」で解説（デイリースポーツ） - Yahoo!ニュース</a>
2022 年 3 月 3 日	NHK	<a href="#">ニュースウォッチ9▽ウクライナ現地の状況・ロシアの戦略は？専門家が読み解く</a>
2022 年 3 月 3 日	NHK	<a href="#">ロシア軍はウクライナを甘く見ていた！？小泉悠さんの分析は 田中正良キャスター聞く</a>
2022 年 3 月 4 日	テレビ東京	<a href="#">ワールドビジネスサテライト 緊急拡大スペシャル 激変!“世界の勢力図”</a>
2022 年 3 月 4 日	テレビ東京	<a href="#">羽鳥慎一モーニングショー 玉川徹氏が持論「ウクライナが引く以外にない」早期に降伏すべきと発言</a>

2022年3月6日	夕刊フジ	<a href="#">「核のボタン」露の本気度 勝利目的よりも「警告」に使う考え方 われわれとは違うプーチン氏の思考 「荒唐無稽ではない」小泉悠氏が分析</a>
2022年3月6日	NHK	<a href="#">NHK スペシャル「攻撃は止められるのか～最新報告 ロシア軍事侵攻～」</a>
2022年3月6日	夕刊フジ	<a href="#">「核のボタン」露の本気度 勝利目的よりも「警告」に使う考え方 われわれとは違うプーチン氏の思考 「荒唐無稽ではない」小泉悠氏が分析</a>
2022年3月7日	BS フジ	<a href="#">Live プライムニュース『緊迫のウクライナ情勢 軍事専門家が見た現実 戦略と兵器を徹底分析』【前編】</a>
2022年3月7日	BS フジ	<a href="#">Line プライムニュース『緊迫のウクライナ情勢 軍事専門家が見た現実 戦略と兵器を徹底分析』【後編】</a>
2022年3月8日	BS11	<a href="#">報道ライブ インサイド OUT「ロシアの無差別攻撃激化！核を使うか？プーチン大統領」</a>
2022年3月9日	BS-TBS	<a href="#">報道 1930 「迫る首都キエフ包囲網、徹底抗戦ゼレンスキー大統領は亡命政権に？」</a>
2022年3月9日	日本記者クラブ	<a href="#">記者会見「ウクライナ」(2)</a>
2022年3月9日	共同通信	<a href="#">小泉悠さんの著書、急きよ増刷 筑摩「現代ロシアの軍事戦略」</a>
2022年3月9日	テレビ朝日	<a href="#">報道ステーション 『人道回廊』設置も...戦況激化か キエフ「3方向から包囲」の動き 専門家解説</a>
2022年3月9日	テレビ朝日	<a href="#">報道ステーション 戦争の度に“支持率上昇”プーチン大統領 ウクライナ侵攻で支持は...専門家解説</a>
2022年3月10日	週刊文春	<a href="#">(3月17日発売号) NHK で解説 小泉悠が“丸の内 OL”を名乗るワケ</a>
2022年3月10日	スポニチ	<a href="#">ウクライナ人道回廊 10 ルート合意 首都キエフへさらなる軍事侵攻「サイン」か</a>
2022年3月10日	TBS	<a href="#">ひるおび！</a>
2022年3月10日	BS-TBS	<a href="#">報道 1930 「プーチン大統領の暴挙が破壊する国際秩序」</a>
2022年3月11日	神奈川新聞	<a href="#">ウクライナ侵攻 小泉悠氏、民間人死者「万単位の恐れ」 核限定使用も指摘</a>
2022年3月12日	産経新聞	<a href="#">なぜ「Z」がロシア支持の象徴に 専門家の見解は ウクライナ侵攻</a>
2022年3月12日	日本経済新聞	<a href="#">ロシア侵攻、過去の戦術と共通点 シリアでも都市壊滅 キエフの「グロズヌイ化」に懸念</a>
2022年3月12日	新潮社 フォーサイト	<a href="#">第2次ナゴルノ・カラバフ戦争の「その後」 (前編)</a>
2022年3月13日	BS 朝日	<a href="#">日曜スクープ徹底解説ニュース最前線】 ウクライナ侵攻“総攻撃”の懸念 キエフ包囲を強行するロシア軍 CIA 長官「民間人の犠牲いとわず」</a>
2022年3月13日	UP (東京大学出版会)	<a href="#">2022年2月号 [世界のいまを読む] 8 ロシアの今 強まる監視と締め付け 小泉悠</a>
2022年3月13日	BS フジ	<a href="#">日曜報道 THE PRIME ウクライナ侵略で中国の役割めぐり、橋下氏と櫻井氏が激論</a>
2022年3月14日	テレビ朝日	<a href="#">ウクライナ善戦でロシア側に変化？4回目の停戦協議の行方は...専門家解説</a>
2022年3月15日	BLOGOS	<a href="#">3月9日 日本記者クラブ記者会見全文文字起こし【全文文字起こし①】ロシア軍事戦略の専門家・小泉悠氏がウクライナ侵攻を解説</a>
2022年3月15日	BLOGOS	<a href="#">3月9日 日本記者クラブ記者会見全文文字起こし【全文文字起こし②】ロシア軍事戦略の専門家・小泉悠氏がウクライナ侵攻を解説</a>
2022年3月15日	BS 日テレ	<a href="#">深層 NEWS 「長期化ウクライナ情勢 シリア内戦と類似点は 軍事専門家と徹底分析」</a>
2022年3月	BS フジ	<a href="#">プライムニュース『ロシア停戦のカギとは プーチンの誤算と不満</a>

月 16 日		<a href="#">『専門家を読み解く結末』前編</a>
2022年3月16日	BS フジ	<a href="#">プライムニュース『ロシア停戦のカギとは プーチンの誤算と不満 専門家を読み解く結末』後編</a>
2022年3月18日	週刊ポスト	<a href="#">プーチン・ロシア軍が核兵器使用を想定する「2つのシチュエーション」</a>
2022年3月20日	NHK	<a href="#">NHK スペシャル 「ウクライナ 深まる危機～“プーチンの戦争”市民はいま～」</a>
2022年3月21日	BS 日テレ	<a href="#">深層 NEWS【無差別攻撃激化】「極超音速ミサイル」使用も...ウクライナ軍事侵攻」</a>
2022年3月22日	BS-TBS	<a href="#">報道 1930 「ロシア将官相次ぐ戦死...ウクライナ“強さ”の理由『国家警護隊』」</a>
2022年3月23日	BS-TBS	<a href="#">報道 1930 「核兵器の使用はできる」 3人が握るロシア“核のカバン”</a>
2022年3月24日	夕刊フジ	<a href="#">“独裁崩壊、プーチン大統領の後継者浮上 中毒、急病、事故...国内の反勢力が画策か 諜報機関の得意技「ソ連時代にも指導者排除の過去」識者</a>
2022年3月25日	BS 日テレ	<a href="#">深層 NEWS 「露の化学兵器使用懸念 現戦況と米欧の危機感 高橋杉雄氏×小泉悠氏」</a>
2022年3月25日	NHK FM	<a href="#">NHKFM NHK ジャーナル ▽対ロシア、西側各国の首脳会議の成果は？」</a>
2022年3月25日	朝日新聞デジタル	<a href="#">ウクライナ危機の深層 第67回 手持ち兵器「ジャベリン」に苦戦、抵抗を甘く見たロシア 小泉悠氏</a>
2022年3月25日	読売オンライン	<a href="#">「深層NEWS」プーチン氏は最大の危機、「非人道的手段でも戦争に勝とうとするのではないか」</a>
2022年3月27日	NHK	<a href="#">日曜討論「ウクライナ侵攻1か月 揺れる国際秩序 日本は」</a>
2022年3月27日	NHK ラジオ第一	<a href="#">日曜討論「ウクライナ侵攻1か月 揺れる国際秩序 日本は」</a>
2022年3月30日	WANI BOOKS NewsCrunch	<a href="#">ロシア勢力圏のウクライナと北方領土 第2回「ウクライナがロシアの勢力圏下に留まざるをえなかった理由」(著作一部抜粋)</a>
2022年3月30日	BS テレ東	<a href="#">日経ニュース プラス9「停戦交渉の落とし所～“出口”の先の新たな危機とは？」</a>
2022年3月31日	SAKISIRU	<a href="#">ロシア「ウクライナ侵攻」で日本も変わる 軍事忌避、SNS陰謀論を乗り越えろ！</a>
2022年3月31日	BS-TBS	<a href="#">報道 1930 「縮小？再配置？...ロシアの実態はいま」</a>

### ③山口特任助教

日付	媒体	番組名・タイトル等
2021年9月7日	NK PRO	<a href="#">More of the same? Japan's North Korea strategy under the next prime minister</a>
2021年9月16日	THIS WEEK IN ASIA	<a href="#">With few options to rein in North Korea, missile launches won't stop: analysts</a>
2021年9月16日	South China Morning Post (香港)	<a href="#">As Australia and Japan universities guard tech research, could China fears affect competitiveness?</a>
2021年10月14日	フランス国際関係研究所	<a href="#">Developments in Japan's Defense Strategies and Readiness: Is the Glass Half-Full or Half-Empty? Asie.Visions, No. 124, October 2021</a>

2021年 11月21日	THIS WEEK IN ASIA	<a href="#">This Week in Asia / Politics</a> <a href="#">South China Sea: will Aukus affect Asean's code of conduct talks with Beijing?</a>
2022年1月14日	新潮社 フォーサイト	<a href="#">ROLESCast#007 カザフスタン情勢の急転—突発的な政権動揺の背景と影響</a>
2022年1月19日	新潮社 フォーサイト	<a href="#">ポスト・コロナ時代の焦点に浮上する「交通システムの安全保障」</a>
2022年3月7日	South China Morning Post (香港)	<a href="#">South Korea's China ties in focus as 'watershed' presidential elections loom</a>
2022年3月24日	読売テレビ	かんさい情報ネット ten 北朝鮮のミサイル発射実験について (声のみ) 動画ナシ
2022年3月24日	The Arena (イスラエル)	<a href="#">Japan Struggles with Its Pacifist Heritage Amidst Intensifying Geopolitical Tensions</a>
2022年3月25日	香港フェニックステレビ (香港)	<a href="#">北朝鮮ミサイル発射実験について</a>
2022年3月26日	abemaTV	<a href="#">【金正恩】アメリカ全土が射程に？ウクライナ侵攻中にミサイル実験する思惑は？北朝鮮の軍事強化とリスク</a>

#### 4. 国民の外交・安全保障問題に関する理解増進

##### (1) ROLES ウェブサイトでの発信

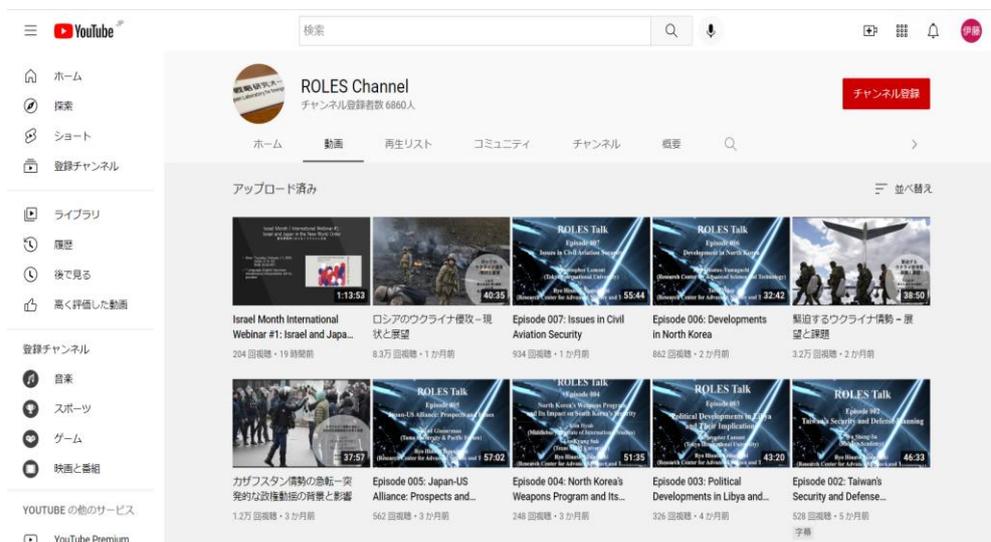
当センターは、事業計画書に記載のとおり、大学が真の意味でのシンクタンクとして社会で役割を発揮するための舞台設定として、2020年9月に「東大先端研創発戦略研究オープンラボ (ROLES: RCAST Open Laboratory for Emergence Strategies)」を発足させた。ROLESは、東大の附置研究所である先端研の豊かなリソースを活用し、大学の社会の中での役割 (Roles) を問い直し、本来の意味での「シンクタンク」として、そのあり方を再確認し、再定義していく。また、「オープンラボ」とは、部局、学科や研究室を超えて、それらに属す研究者が、研究上で自由に交差し、協力することのできる場を指す。

ROLESでは、大学外から、今現在の緊急な国際問題に密接に結びついたさまざまなプロジェクトを呼び込み、社会との接点と相互交流を、積極的に生み出していき、国内官庁や企業を始め、諸外国の大学やシンクタンク、各国の政府機関や企業との関係を積極的に構築しており、公式ウェブサイト (下図参照、<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/>) では、本補助金事業に関する活動や研究成果を随時発信している。



## (2) ROLES チャンネルでの発信

また、You Tubeに ROLES チャンネルを設定し（下図参照）、随時発信している。昨年度の登録者数は 231 名であったが、今年度末（2022 年 3 月 31 日）時点では、6860 名と 30 倍近く増えた。同チャンネルでは、公開ウェビナーに加えて、日本語と英語にて時宜にかなったテーマで専門家による見解を発信している。



URL: [https://www.youtube.com/channel/UC8P\\_eA0Kc6hVeMewS\\_W-GSw/videos](https://www.youtube.com/channel/UC8P_eA0Kc6hVeMewS_W-GSw/videos)

その他、Peatix のウェブサイトにも ROLES 専用の申込ページを設置しており、SNS によるフォロワー数は昨年度の 1543 名から 2,386 名に増えた。同ページでは、ROLES によるシンポジウムやセミナーの開催案内を実施しており、フォロワーは最新の案内を受け取れるようになっている。

URL: <https://gsr-rcast.peatix.com/>



### (3) ROLES Castでの発信

本事業では、ROLES ウェブサイト上に動画配信欄 (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/videos>) を設け、国民の外交・安全保障に関する理解増進のため、国際情勢を分かりやすく解説するための動画コーナーとして「ROLES Cast」を設けている。本年度の配信概要は以下のとおりである。特にタリバンによるカブール陥落、ロシアによるウクライナ侵攻に関する動画にの視聴回数が突出して多く、後者は侵攻前後の2本合わせると10万回以上となった。

日付	タイトル	登壇者・講演者	視聴回数
2021/5/11	イラン核合意協議の争点—米とイランの相違点	鈴木 一人 (東大公共政策大学院教授)	3002 回
		池内 恵 (東京大学先端科学技術研究センター・教授)	
2021/8/16	アフガン政権崩壊—背景と展望	池内 恵 (東京大学先端科学技術研究センター・教授)	39224 回
		小泉 悠 (東京大学先端科学技術研究センター 特任助教)	
2021/8/24	米国のアフガニスタン政策の20年 それが残したのか	中山 俊宏 (慶應義塾大学総合政策学部教授)	5470 回
		池内 恵 (東京大学先端科学技術研究センター・教授)	
2021/10/6	AUKUS の衝撃	鶴岡 路人 (慶應義塾大学総合政策学部准教授)	3230 回
		池内 恵 (東京大学先端科学技術研究センター・教授)	
2021/10/11	相次ぐミサイル発射から読む北朝鮮の今	小泉 悠 (東京大学先端科学技術研究センター 特任助教)	2907 回

		山口 亮 (@tigerrhy 東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	
2021/10/21	続・相次ぐミサイル発射から読む北朝鮮の今	小泉 悠 (東京大学先端科学技術研究センター 特任助教)	2644 回
		山口 亮 (@tigerrhy 東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	
2022/1/6	カザフスタン情勢の急転—突発的な政権動揺の背景と影響	小泉 悠 (東京大学先端科学技術研究センター 専任講師)	12377 回
		山口 亮 (@tigerrhy 東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	
2022/1/25	緊迫するウクライナ情勢 — 展望と課題	小泉 悠 (東京大学先端科学技術研究センター 専任講師)	31926 回
		山口 亮 (@tigerrhy 東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	
2022/2/28	ロシアのウクライナ侵攻—現状と展望	小泉 悠 (東京大学先端科学技術研究センター 専任講師)	83073 回
		山口 亮 (@tigerrhy 東京大学先端科学技術研究センター特任助教)	

(4) 公開ウェビナーの開催

今年度は、以下の公開ウェビナーを開催した。海外有識者をパネリストとして招いた会合では、国民の理解増進を図るため、日英同時通訳を導入した。その概要は以下の通り（一部、3-1の「2.」との重複あり）。

年月日	会合名	登壇者（所属）	事前登録人数	Zoom 参加人数
2021 / 06 / 12 (土)	シンポジウム <a href="#">大国間競争時代の世界と向き合う 大学発シンクタンク ROLES の挑戦</a>	山口 亮（釜山国立大学・客員教授／パシフィック・フォーラム・客員研究員）	181	215
		村野 将（ハドソン研究所・研究員）		
		池内 恵（東京大学先端科学技術研究センター/教授）		
		小泉 悠（東京大学先端科学技術研究センター・特任助教）		
		伊藤 和歌子（東京大学先端科学技術研究センター・シニアプログラムコーディネーター）		
		立田 由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター・特任研究員）		
		田中 周（東京大学先端科学技術研究センター・特任研究員）		
		周 俊宇（東京大学先端科学技術研究センター・特任研究員）		
		鍛冶 一郎（東京大学先端科学技術研究センター・特任研究員）		
		山城 貢司（東京大学先端科学技術研究センター・特任研究員）		
2022 / 02 / 17 (木)	セミナー イスラエル月間   Israel Month International Webinar #1: 新世界秩序におけるイスラエルと日本 中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会	ニシム・オトマズキン（エルサレム・ヘブライ大学人文学部長・教授）	136	143
		池田 明史（東洋英和女学院大学学長・教授）		
2022 / 02 / 21 (月)	セミナー イスラエル月間   israel Month International Webinar #2: グリーンテックの未来：イスラエルの「気候テック」エコシステムからの示唆 中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会	ウリエル・クラール（イスラエル・イノベーション研究所 PLANETech・ディレクター）	42	45
		杉山 正和（東京大学先端科学技術研究センター・教授）		
2022 / 02 / 22 (火)	セミナー イスラエル月間   Israel Month International Webinar #3: ブロックチェーン技術と公共政策：準備、適応、変革の方法 中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会	ミリー・ペリー（イノベーション、ブロックチェーン、R&D の専門家兼コンサルタント・博士）	58	62
		秋山 信将（一橋大学法学研究科、国際・公共政策研究部・教授）		
		池内 恵（東京大学先端科学技術研究センター・教授）		

	る分科会			
2022 / 02 / 23 (水)	セミナー 「日米同盟の未来：展望と課題 - Shaping the Future of the Japan-US Alliance」 政策シミュレーション研究プロジェクト	ザック・クーパー (アメリカン・エンタープライズ・インスティテュート、シニア・フェロー) 山口 亮 (東京大学先端科学技術研究センター特任助教、ROLES 研究主幹)	180	218
2022 / 02 / 24 (木)	セミナー イスラエル月間   Israel Month International Webinar #4: アブラハム合意とその帰結：進展と課題	ウジ・ラビ (テルアビブ大学モシェダヤン中東アフリカ研究センター・センター長・教授) ブランドン・フリードマン (テルアビブ大学モシェダヤン中東アフリカ研究センター・研究部門長・博士) 池内 恵 (東京大学先端科学技術研究センター・教授)	89	92
2022 / 03 / 07 (月)	セミナー イスラエル月間   #8: 地球科学は地球温暖化をどう捉えているか：海と空、大陸の西と東の違い 中東・イスラーム世界のオルターナティブに関する分科会	ヘツィ・ギルドール (エルサレム・ヘブライ大学地球科学研究所・教授) オリ・アダム (エルサレム・ヘブライ大学地球科学研究所・准教授) 中村 尚 (東京大学先端科学技術研究センター副所長・教授) 池内 恵 (東京大学先端科学技術研究センター・教授)	59	58

(5) コメンタリー「ROLES Report/Commentary」の発信

ROLES ウェブサイトにおいて、以下の通りコメンタリーを発信した。2,000 字程度の短いものは「ROLES Commentary」、1 万字前後の論考は「ROLES Report」として区別し、ROLES ウェブサイトに掲載した (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/publications>)。「ROLES Report」については、手に取ってもらいやすいように、プロのデザイナーを入れて編集した。



【ROLES Report 一覧】

掲載日	氏名	タイトル
2021.04.12	田中 周	<a href="#">新疆・ウイグル族をめぐる諸問題</a>
2021.04.12	池田有紀美	<a href="#">量子技術と安全保障</a>
2021.04.15	宮本 悟	<a href="#">北朝鮮の内在論理：ナショナリズム形成と世界観の変化</a>
2021.04.15	日下 渉	<a href="#">内政から見るフィリピンの外交 米中間を揺れ動くドゥテルテの目的は何か</a>
2021.04.15	西山美久	<a href="#">歴史認識に関するロシアの内在論理</a>
2021.04.15	岡本 隆司	<a href="#">東アジア漢語圏の歴史的「内在論理」—「琉球」を事例に</a>
2021.05.14	松田 康博	<a href="#">習近平の軍事改革—権力集中、軍令・軍政分離、統合促進</a>
2021.05.26	山尾 大	<a href="#">岐路に立つイラク—人民動員隊の拡大と経済危機、そして蔓延する不満</a>
2021.07.15	栗原 響子	<a href="#">「人間の認知」をめぐる介入戦略—複雑化する領域と手段、戦略的コミュニケーション強化のための一考察</a>
2021.08.13	高橋慶吉	<a href="#">コロナ・パンデミックとアメリカ政治—分裂の中の危機対応</a>

		<a href="#">二</a>
2022.01.13	家永 真幸	<a href="#">中国の台湾問題をめぐる「外国勢力」への警戒言説</a>
2022.01.20	青木 まき	<a href="#">タイの国内対立とその対外関係への影響</a>
2022.01.21	山口 信治	<a href="#">中国・習近平政権のイデオロギーをめぐる闘争—和平演変・カラー革命への対抗と国際的言語権—</a>
2022.04.05	乗松 亨平	<a href="#">ユーラシア主義の歴史的・地域的展開</a>

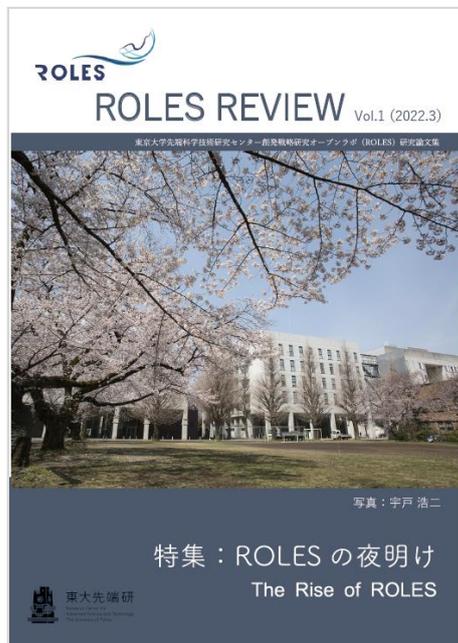
### 【ROLES Commentary 一覧】

掲載日	氏名	タイトル
2021.05.18	池内 恵	<a href="#">ROLES Report/Commentary が目指すもの</a>
2021.05.18	小泉 悠	<a href="#">領域セキュリティの諸課題にいかに取り組むか</a>
2021.06.03	鶴岡 路人	<a href="#">日露関係の教訓と課題—安倍政権から菅政権へ</a>
2021.06.03	辻田 俊哉	<a href="#">2021年5月のガザ地区情勢等に関するイスラエル側の評価</a>
2021.06.15	川島 真	<a href="#">中国・権威主義体制に関する分科会について—その発足と初年次の活動、暫定的成果に関する中間報告</a>
2021.10.27	田中 周	<a href="#">中国の対アフガニスタン外交：5つの地域枠組み</a>

### (6) ROLES Reiew の創刊

今年度は、過去に発表された ROLES Repot を編集し、再録する形で、紙媒体の刊行物『ROLES Review』を創刊した（下図参照）。

### 【ROLES Review の表紙と目次】



<b>contents</b>	
ROLES REVIEW Vol.1 (2022.3)	
「オープンラボ」によるこそ	
■第1部 安全保障の新地平■	
第1章 新テクノロジーと安全保障の将来像 ……………	3
第2章 量子技術と安全保障 ……………	29
第3章 「人間の認知」をめぐる介入戦略 ……………	65
第4章 サイバー空間と民主主義の動向 ……………	93
■第2部 揺らぐ既存秩序と中国の台頭■	
第5章 コロナ・パンデミックと2020年アメリカ政治 ……………	111
第6章 習近平の軍事改革 ……………	135
第7章 中東欧・中国関係の変質と「174」首脳会合 ……………	147
■第3部 非「中心」からの視点■	
第8章 北朝鮮の内在論 ……………	161
第9章 歴史認識に関するロシアの内在論 ……………	177
第10章 新疆・ウイグル族をめぐる諸問題 ……………	195
第11章 内政から見るフィリピンの外交 ……………	219
第12章 東アジア演説圏の歴史的「内在論」 ……………	241

### (7) メディアでの報道

日本語でのメディア報道は、本報告書の 44-52 ページにまとめたメディア発信一覧を参照されたい。

### 3-2 事業の実施状況・成果の定量的概要

#### 【調査】

- ・情報収集・調査実施回数： 0回

#### 【会議】

- ・研究会の実施数： 25回
- ・シンポジウム／セミナー／ワークショップ等の主催・共催数： 19回
- ・他団体主催のシンポジウム／セミナー／ワークショップ等への参加数： 29回

#### 【情報発信】

- ・インタビューや報道発表の実施数： 183回
- ・論文やコメントリーの発出数： 26回
- ・政策提言を含む報告書の発出数： 0回
- ・学術誌の発行： 1回
- ・動画公開： 19本

※ 主要なものにつき、審査委員や政府関係者などが閲覧できるよう URL（未発表のものは概要）を記載。また、上記以外の情報発信（メールマガジン配信、ウェビナー動画の発信など、独自に実施している情報発信）も該当があれば記載すること。

ROLES 公式サイト（日本語）

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/>

動画配信

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/videos>

ROLESCast#009 ロシアのウクライナ侵攻－現状と展望（視聴回数トップの動画）

<https://youtu.be/vSdgmzxmjMo>

刊行物

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/publications>

ROLES 公式サイト（英語）

<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/en>

You Tube ROLES チャンネル

<https://www.youtube.com/c/ROLESChannel/featured>

ROLES 公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/%E6%9D%B1%E5%A4%A7%E5%85%88%E7%AB%AF%E7%A0%94%E5%89%B5%E7%99%BA%E6%88%A6%E7%95%A5%E7%A0%94%E7%A9%B6%E3%82%AA%E3%83%BC%E3%83%97%E3%83%B3%E3%83%A9%E3%83%9C-104391228337141>

ROLES Twitter

[https://twitter.com/roles\\_hq/status/1415471736053657604](https://twitter.com/roles_hq/status/1415471736053657604)

英語での発信の模様（IGSDA ウェブサイト）

<https://igsda.org/>

#### 4-1 事業実施体制

- ・事業を実施するための人的体制、それぞれの役割分担等を記載のこと。
- ・必要に応じ、それぞれの経験、能力等を示す資料を別添可。
- ・若手、女性研究者、首都圏以外の研究者にカウントしている場合はそれを分かるようにすること。

(※) 年齢・性別は評価の際の参考情報として記載するものであり、対外公表はしない。

##### 1 組織図 (自由書式)

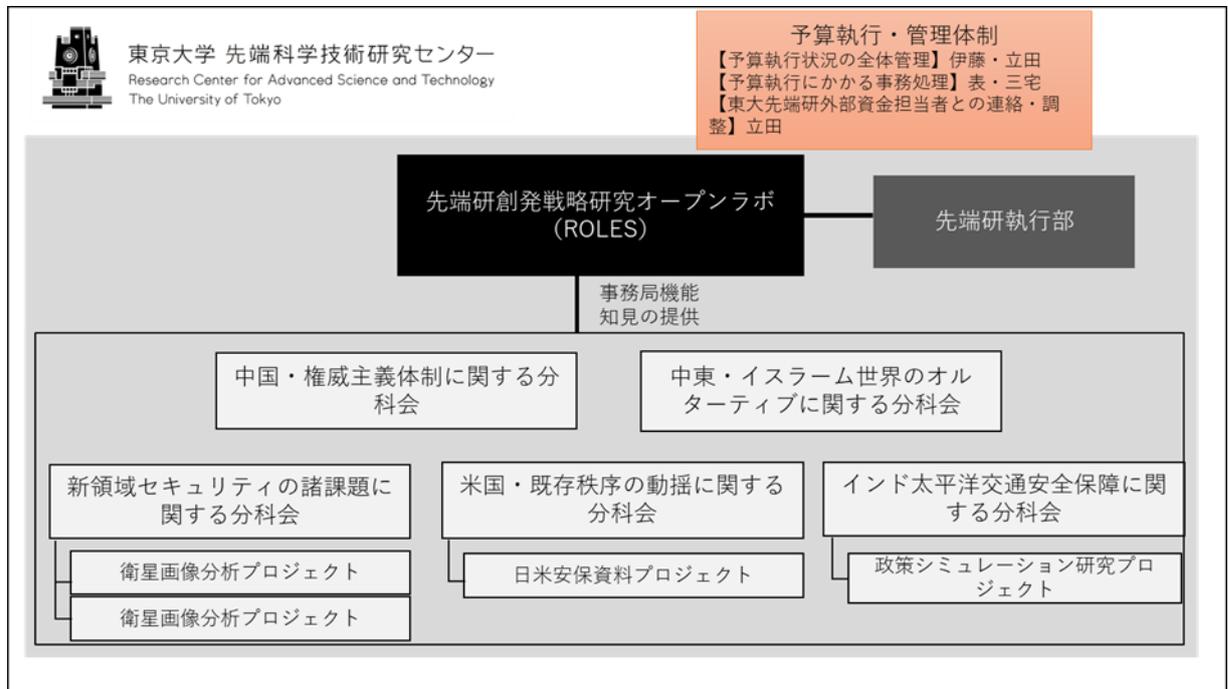
※ 複数の分科会／研究会が設けられている場合は、それらが有機的に連携するためにどのような体制が取られているか明示すること。

※ 予算の執行・管理体制を明示すること。

##### (1) 組織図 (自由書式)

(注) 複数の分科会／研究会が設けられている場合は、それらが有機的に連携するためにどのような体制が取られているか明示すること。

(注) 予算の執行・管理体制を明示すること。



各分科会幹事より池内研究室の総務・経理担当に経費支出（謝金等の振込）を依頼し、総務・経理担当はそれを受けて先端研財務チーム執行・謝金担当に支払い伺いを提出。それに基づき、東大本部で経理処理され、予算執行（振込など）がなされる。ただし、物品購入（同時通訳やデータベース契約等含む）の予算執行は先端研が直接行う。

## 2 メンバー詳細

事業総括、グループリーダー、研究担当、渉外担当、経理担当等の別	氏名	所属機関・部局・職	役割
先端研創発戦略研究オープンラボ (ROLES)			
事業総括	池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター教授（兼任・先端研創発戦略研究オープンラボ (ROLES) 代表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業全体の総括</li> <li>・研究会、シンポジウム等の主宰</li> </ul>
事業副総括	小泉 悠	東京大学先端科学技術研究センター専任講師（兼・先端研創発戦略研究オープンラボ (ROLES) ・副代表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業全体の研究面に関する総括</li> </ul>
事業副総括	立田由紀恵	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員（兼・先端研創発戦略研究オープンラボ (ROLES) ・事務統括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の事務全体に関する総括</li> </ul>
事業副総括	伊藤和歌子	東京大学先端科学技術研究センター・シニア・プログラム・コーディネーター／特任研究員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業運営にかかる助言</li> <li>・外務省と大学事務との調整</li> </ul>
事業副総括（全体会合座長）	坂元一哉	大阪大学名誉教授（兼・先端研創発戦略研究オープンラボ (ROLES) ・顧問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会合のとりまとめ</li> <li>・各分科会の調査研究に関する方向性の取りまとめ</li> <li>・事業全体の内容に関する調査研究、発信等</li> </ul>
中国・権威主義体制に関する分科会			
分科会座長／中国班班長	川島真	東京大学大学院総合文化研究科教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分科会のとりまとめ</li> <li>・中国の権威主義体制に関する調査研究、発信等</li> </ul>
幹事／研究担当（同）	伊藤和歌子	東京大学先端科学技術研究センター・シニア・プログラム・コーディネーター／特任研	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座長補佐、中国科学技術に関する調査研究</li> </ul>

		役員	
副幹事／研究担当 (同)	田中 周	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	・中国・新疆ウイグ ル問題に関する調査 研究
中国班・研究担当 (同)	松田 康博	東京大学東洋文化研究 所教授	・中国の権威主義体 制に関する調査研究
中国班・研究担当 (同)	岡本 隆司	京都府立大学文学部教 授	・歴史的観点から見 た中国の権威主義体 制に関する調査研究
中国班・研究担当 (同)	家永 真幸	東京女子大学現代教養 学部准教授	・文化シンボル、パ ブリックディプロマ シーに関する調査研 究
中国班・研究担当 (同)	鈴木 隆	愛知県立大学外国語学 部准教授	・内政、習近平体制 に関する調査研究
中国班・研究担当 (同)	山口 信治	防衛研究所地域研究部 中国研究室主任研究官	・戦浪外交、対外関 係に関する調査研究
ロシア班班長・研究担 当 (同)	小泉 悠	東京大学先端科学技術 研究センター専任講師	・ロシア班のとりま とめ、ロシアの主権 思想に関する調査研 究、発信等
ロシア班・研究担当 (同)	西山 美久	北海道大学国際連携機 構特任助教	・ロシアのナショナ リズムに関する調査 研究、発信等
ロシア班・研究担当 (同)	乗松 亨平	東京大学総合文化研究 科准教授	・ロシアの権威主義 体制に関する調査研 究、発信等
東南アジア班長・研究 担当 (同)	鈴木 絢女	同志社大学法学部教授	・東南アジア班のと りまとめ、東南アジ ア諸国の政治体制に 関する調査研究
東南アジア班・研究担 当 (同)	青木 まき	アジア経済研究所地域 研究センター東南アジ ア I 研究グループグル ープ長代理	・タイに関する調査 研究
東南アジア班・研究担 当 (同)	岡本 正明	京都大学東南アジア地 域研究研究所教授	・インドネシアに関 する調査研究
東南アジア班・研究担 当 (同)	日下 渉	名古屋大学大学院国際 開発研究科准教授	・フィリピンに関す る調査研究
東南アジア班・研究担 当 (同)	中西 嘉宏	京都大学東南アジア地 域研究研究所准教授	・ミャンマー・パキ スタンに関する調査 研究
北朝鮮班・研究担当 (同) 衛星画像分析プロジェ	宮本 悟	聖学院大学政治経済学 部教授、東京大学先端 科学技術研究センター	・北朝鮮の権威主義 体制に関する調査研 究、発信等

クトメンバー		客員研究員	
中東・イスラーム世界のオルターティブに関する分科会			
分科会座長（中東・イスラーム世界のオルターティブに関する分科会）	池内恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	・分科会のとりまとめ・イスラーム的オルターナティブ思想に関する調査研究
幹事・研究担当（同）、政策シミュレーション研究プロジェクトメンバー	立田由紀恵	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・バルカンにおけるイスラーム復古主義に関する調査研究
副幹事・研究担当（同）	田中周	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・中央アジア・トルコのウイグル政策に関する調査研究
分科会助手（同）	狩野希望	学習院大学非常勤講師	・イスラーム法思想に関する調査研究
研究担当（同）	辻田俊哉	関西外国語大学 英語国際学部 准教授（特任）／東京大学先端科学技術研究センター特任助教（非常勤）	・イスラエルを中心とした中東の国際安全保障に関する調査研究
研究担当（同）	菊地達也	東京大学人文社会系研究科准教授	・シーア派のイスラーム的オルターナティブ思想に関する調査研究
研究担当（同）	岩瀬昇	エネルギー・アナリスト 三井物産社友	・中東を中心とする資源エネルギー市場動向に関する調査研究
研究担当（同）	今井宏平	日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員	・トルコの対中東外交・対米および対中国外交等に関する調査研究
研究担当（同）	柿崎正樹	テンプル大学ジャパンキャンパス 政治学部 上級准教授	・トルコの政治体制に関する調査研究
研究担当（同）	鈴木均	日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任研究員	・イランの政治体制に関する調査研究
研究担当（同）	山尾大	九州大学比較社会文化研究院准教授	・イラクにおけるイスラーム的オルターナティブ思想に関する調査研究

			る調査研究
研究担当（同）	吉岡明子	日本エネルギー経済研究所・中東研究センター研究主幹	・クルド諸勢力の非国家主体をめぐる政治と国際関係に関する調査研究
研究担当（同）	小林周	在リビア日本国大使館書記官	・リビアの政治経済・エネルギー安全保障に関する調査研究
研究担当（同）	斎藤純	日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員	・UAEの政治経済に関する調査研究
研究担当（同）	廣瀬陽子	慶應義塾大学教授	・コーカサスの政治経済に関する調査研究
研究担当（同）	東野篤子	筑波大学人文社会系准教授	・バルカン地域のEUとトルコとの国際関係に関する調査研究
研究担当（同）	松本佐保	日本大学国際関係学部教授	・バチカンの対中東外交、グローバルな宗教間国際政治に関する調査研究
研究担当（同）	平野克己	日本貿易振興機構アジア経済研究所上席主任調査研究員	・アフリカの経済開発に関する調査研究
研究担当（同）	篠田英朗	東京外国語大学教授	・中東・アフリカの平和構築に関する調査研究、コロナ問題の国際政治への影響に関する調査研究、発信等
研究担当（同）	本名純	立命館大学教授	・インドネシアの政治と政軍関係におけるイスラーム主義勢力の影響に関する調査研究
研究担当（同）、現代ユダヤ・イスラーム思想哲学ネットワーク幹事	山城貢司	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・現代のユダヤ教思想・イスラーム思想哲学の発展に関する調査研究、ヘブライ大等のユダヤ系学識者とのネットワーク形成
外部研究協力者（同）	サイイド・ゴネイム	グローバルセキュリティ防衛研究所長（UAE）	・エジプト及びUAEの中東地域安全保障体系構築への役割に

			関する知見の提供・海外での調査・シンポジウム参加の支援（コネクションの提供等）
外部研究協力者（同）	ウツィ・ラビ	テルアビブ大教授、モシェダヤン中東アフリカ研究センター所長（イスラエル）	・イランの中東国際政治・各国国内政治（イエメン・シリア等）への介入に関する知見の提供
米国・既存秩序の動揺に関する分科会			
分科会座長	村田晃嗣	同志社大学法学部教授	・分科会のとりまとめ ・米国の政治外交に関する調査研究 ・冷戦後の既存秩序の形成と再編及び日米関係の長期的将来像についての調査研究
幹事（同）	池内恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	・米国の拡大中東地域におけるプレゼンスの変遷と、他の域外大国の関与の増大に関する調査研究、米・中東関係、米・イスラエル関係の変容に関する調査研究
副幹事・研究担当（同） 日米安保資料プロジェクトリーダー	鍛冶一郎	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	日米同盟の歴史に関する調査研究及びデータベース作成
研究担当（同） 日米安保資料プロジェクトメンバー	坂元一哉	大阪大学名誉教授	・日米関係の歴史的変動に関する調査研究
研究担当（同）	待鳥聡史	京都大学大学院法学研究科教授	・米国政治の制度・構造変動に関する調査研究
研究担当（同）	中山俊宏	慶應義塾大学総合政策学部教授	・米トランプ政権の米国一国主義政策に関する調査研究
研究担当（同）	小谷哲男	明海大学外国語学部教授	・米トランプ政権下における秩序観の変容に関する調査研究
研究担当（同）	鶴岡路人	慶應義塾大学総合政策	・EU 諸国における秩

		学部准教授	序観の変容、米欧関係の変容に関する調査研究
研究担当（同）	杉田弘毅	共同通信社特別編集委員	・米国・欧州等における既存秩序の動揺に関する調査研究 ・トランプ政権の対中・対イラン経済制裁に関する最新の動向調査研究
研究担当（同）	瀧井一博	国際日本文化研究センター教授	・グローバル化の中での国家と地方の関係に関する調査研究
研究担当（同） 日米安保資料プロジェクトメンバー	高橋慶吉	大阪大学大学院法学研究科教授	・戦後米国の東アジア政策に関する調査研究
研究担当（同） 日米安保資料プロジェクトメンバー	小島吉之	帝塚山大学非常勤講師	・日米の情報協力に関する調査研究
研究担当（同）	杉田弘毅	共同通信社特別編集委員	・米国・欧州等における既存秩序の動揺に関する調査研究 ・トランプ政権の対中・対イラン経済制裁に関する最新の動向調査研究
研究担当（同）	瀧井一博	国際日本文化研究センター教授・副所長	・グローバル化の中での国家と地方の関係に関する調査研究
新領域セキュリティの諸課題に関する分科会			
分科会座長（新領域セキュリティの諸課題に関する分科会）、衛星画像分析プロジェクト／情報安全保障プロジェクトリーダー、政策シミュレーション研究プロジェクトメンバー	小泉悠	東京大学先端科学技術研究センター専任講師	・分科会のとりまとめ ・新領域の安全保障に関する調査研究
幹事（同）	狩野希望	学習院大学非常勤講師	・座長補佐
研究担当（同） 情報安全保障プロジェクトメンバー	佐橋亮	東京大学東洋文化研究所准教授	・米中大国間関係に関する調査研究
研究担当（同）	鈴木一人	東京大学公共政策大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター	・宇宙・サイバー・感染症をめぐる国際安全保障に関する調

		客員研究員	査研究
研究担当（同） 情報安全保障プロジェクトメンバー	飯塚恵子	読売新聞編集委員	・諸外国のシャープ パワーと既存秩序の 側の対応に関する調 査研究
研究担当（同）	池田有紀美	国連軍縮部政務官補	・量子技術と安全保 障に関する調査研究
研究担当（同） 情報安全保障プロジェ クトメンバー	栞原響子	日本国際問題研究所研 究員	・シャープパワーに 関する調査研究
研究担当（同） 情報安全保障プロジェ クトメンバー	小宮山功一朗	慶應義塾大学グローバ ルリサーチインスティ テュート・客員所員	・サイバーセキュリ ティに関する調査研 究
研究担当（同） 情報安全保障プロジェ クトメンバー	高森雅和	株式会社 Dafna 代表取 締役社長	・SNS を中心とした メディア戦略に関す る調査研究
研究担当（同）	中井治郎	龍谷大学社会学部非常 勤講師	・グローバルな人間 の移動が外交・安全 保障政策に及ぼす影 響に関する観光社会 学からの調査研 究、ポスト・イン バウンドのグローバ ル・ツーリズムに関 する調査研究
研究担当（同） 情報安全保障プロジェ クトメンバー	中井遼	北九州市立大学政策科 学科准教授	・バルト三国におけ るロシアのシャープ パワー行使に関する 調査研究、発信等
研究担当（同） 情報安全保障プロジェ クトメンバー	松本充豊	京都女子大学現代社会 学部教授	・中国のシャープパ ワー行使に関する調 査研究
研究担当（同）	山口亮	東京大学先端科学技術 研究センター特任助教	・エマージングテク ノロジーと安全保障 に関する調査研究
外部研究協力者（同）	村野将	ハドソン研究所研究員 （米国滞在中）	・シャープパワーに 対する米国の抑止政 策及び日米の安全保 障に関する知見の提 供 ・海外での調査・シ ンポジウム参加の支 援（コネクションの 提供等）
インド太平洋交通安全保障に関する分科会			

分科会座長（インド太平洋交通安全保障に関する分科会）、政策シミュレーション研究プロジェクトリーダー、衛星画像分析プロジェクトメンバー	山口亮	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	・エマージングテクノロジーと安全保障に関する調査研究
幹事（同）	立田由紀恵	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	・座長補佐
副幹事（同）、政策シミュレーション研究プロジェクトメンバー	豊田耕平	東京大学先端科学技術研究センター協力研究員	・座長補佐
研究担当（同）	コリン・コー・スウィー・リーン	ラジャラトナム国際学研究所リサーチ・フェロー	・海洋安全保障問題とインド・太平洋地域諸国の安全保障政策に関する調査研究
研究担当（同）	ウー・シャンスー	ラブダン・アカデミー助教授	・鉄道部門における安全保障問題とインド・太平洋地域諸国の安全保障政策に関する調査研究
研究担当（同）	クリストファー・ラモン ト	東京国際大学准教授	・民間航空部門における安全保障問題と国際法（民間航空）に関する調査研究
研究担当（同）	ジェフリー・オーダニエル	東京国際大学専任講師	・海洋安全保障問題と国際法（海洋法）に関する調査研究。
研究担当（同）	アシュラ・サレ	グローバル・アウェアネス・インパクト・アライアンス（GAIA）共同創業者	・海洋安全保障問題と国際法（海洋法）及び国際協力に関する調査研究
事務局			
総務・経理担当	江頭 裕士	東京大学 先端科学技術研究センター財務チーム外部資金担当	・事業全体の総務・経理
総務・経理担当	三宅 由美子	東京大学先端科学技術研究センター事務補佐員	・事業内容に関する総務・経理 ・事業内容に関する渉外
総務・経理担当	表 真琴	東京大学先端科学技術研究センター事務補佐員	・事業内容に関する総務・経理 ・事業内容に関する渉外

#### 4-2 事業実施体制の定量的概要

研究者数合計 68名

うち若手研究者数 32名 (全体の 47.0%)

うち女性研究者数 14名 (全体の 20.5%)

うち首都圏以外の研究者数 30名 (全体の 44.1%)